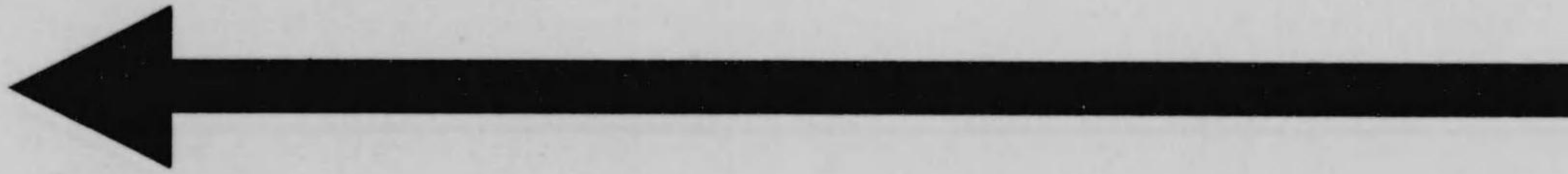


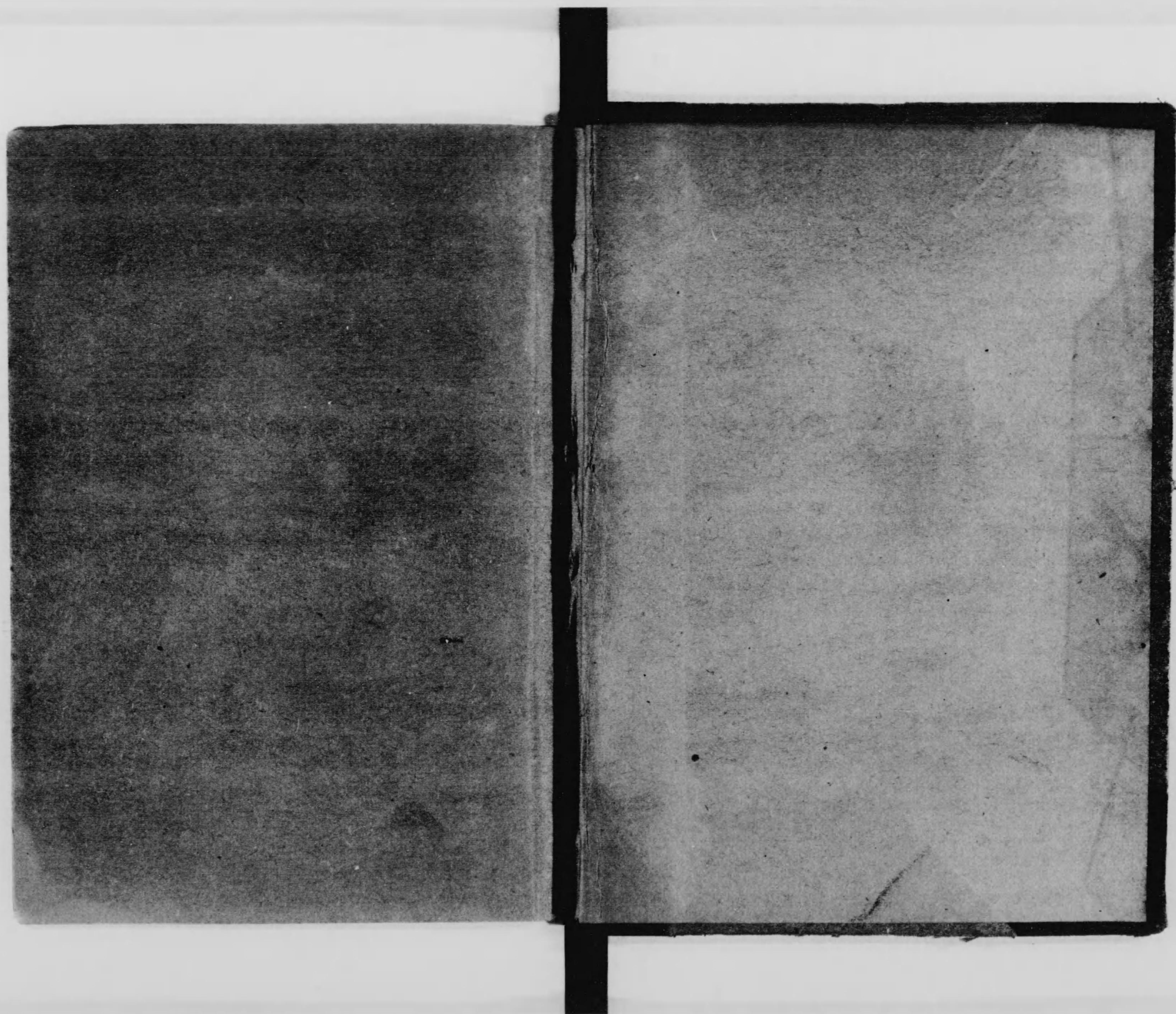
364

339



始





364-339



★

大正
6. 11. 27
内交
版房山泰

序 文

余が知人白松鶏庵君が訪問せられて『鶏の飼方』なる原稿を示されて序を乞ふのであつたから余は夫を快諾して一應讀去つて見たが、此貯金と養鶏とを結び付て著者が研究したと云ふのは、余の大に同意する所である。元來養鶏なるものは大に有利で、日々相當の收入があるから、夫れを家事經濟の用に供するは勿論だが、少しでも其利益の餘裕を見たら直に貯金することは、將來の計として非常に好ましい事で、余も久しき以前より此研究を思立つたが、今此著を見て年來の希望が勃然として湧き立ち實に禁ずることが出来ないのだ。さて此著に就て余は遠慮なく批評して

荒川区日暮里渡辺町一六五
 田中美佐子様
 荒川区日暮里三丁目一五二
 石原左け様
 荒川区田端町一五〇
 山崎美津子様
 流郭町日暮町一四六
 木村照子様
 流郭町日暮町三四五
 岸孝子様
 流郭町日暮町三四五
 深谷政子様

見ると、貯金と養鶏の關係を略説したのは誠に要を得た事で、更に進んでは養鶏法を説き、最後に貯金財源の少しも多からん事を希望するより利益増収法を述べたのは、實に金の賛同する主要な點である。兎に角貯金するなら必ず其財源を求むるのが肝要で、之を求めんとするには實に養鶏の様な副業を行て、不斷的收入を得る外はない。

著者が此點に深い注目をされたのは、頗る嬉しい事であるから余は此書を奮つて世間の貯金希望者にお薦めして、『小は大をなす』の基なる金言に違はず、何年かの後に養鶏利益から何百何千と云ふ大金を擲まれん事を切望し、あらゆる貯金家の福音として斯くは序文を物したのであるが、實に本書は樂々貯金の出来る方法を教示した、世上稀に見るの好著

であると確信する。

大正六年秋の初め鶏舎の中から

曉 聲 子 白 す

緒言

貯金の必要な事は三尺の兒童もよく知るのですから、私は今更其説明を喋々致しませぬが、さて其實行例に貯金本來の性質たる永續的方法に至つては、餘程忍耐、克己、不撓等の精神を持ちませぬと出来ない事です。然し此貯金をなすにも或方法によれば、實に苦痛なく實行されますので、必ずしも非常な忍耐、克己、不撓等の精神は要せぬから、私は其樂々と實行が誰にも出来得る貯金法を紹介いたしますが、夫は貯金の財源を見附けるのが秘訣で、確實な財源さへ捕捉すれば、誠に愉快此上ないものです。然らば其確實な財源は何かと申すに、私の見る所では養鶏

拜啓 長之野無沙的致して御清々
 貴女はもう僕をお忘れなせう。
 僕は去年所出く女と遊んか
 貴女もかい方お変わりなせう
 僕は相変が子供達の顔して居るよ

が最も適當だと思考へ、又實際貯金の成功を養鶏の利益で遂た人々を確かに目撃して居るのですが、御覽の通り鶏を飼へば日々何程宛かの採卵が出来て、夫は相當の價格を掛ちますから、不斷的収入の途が開け、即ち貯金財源が擱まれるので、彼の世人が困難と思ふ貯金も、自由自在に夫はく面白おかしい間に實行されるので、誠に安全な而して氣樂の方法では有せんか。だから私は貯金を極めて愉快になす様普くお勧めするために、其好財源たる養鶏を説明せんとして本書を著した所以ですが、勿論此書は一攫千金や巨萬の貯金を希望する人々には三文の價値もないので、要は『小を積み大をなす』の主義を堅く服膺して、貯金の實行を試み、何年若くは何十年かの後に數百金を得て後榮を計らんとする堅忍、

努力の人達に深くお勧めして止まぬので有ます。而して其養鶏法の如きは要を探り簡を用ひて、誰にも容易に實行される様なものを略説したので、ですから、固より彼の學理一途に傾くを避けて實際の經驗を基礎とし、主に小數養鶏法に依たのですが、軒下か庭隅若くは垣根の傍になりとも二坪か三坪の空地を持つ人々は、必らず此貯金養鶏の實現が出来て、精神上にも物質上にも極めて有益だと確信し、大に切望いたします。

貯金するなら養鶏なさい、

鶏は卵産む金を生む。

又本書に序文を賜ひし松崎曉聲氏の御高志と、出版に御盡力を下された泰山房御主人の御厚意を深く感謝して止みませぬ。

大正六年九月鶏聲朗かな庵にて

白松鶏庵識

貯金の鶏の飼方

目次

出貯金の

- 一 貯金と養鶏……………一
- 一 貯金の最良法は養鶏……………一
- 二 養鶏から生ずる千圓貯金と種々な貯金……………七
- 三 養鶏は誰にも容易に出来る最も有望なもの……………一六
- 四 最も貯金養鶏に適当した種類……………二〇
- 五 貯金養鶏の諸注意……………二六
- 二 成鶏の飼養法……………二九

一 放飼と柵飼……………二九

二 鶏舎と運動場……………三一

三 飼料の種類と給與法……………三七

四 成鶏の諸管理……………四〇

五 鶏の斷巢法……………五一

六 鶏の疾病と其治療法……………五三

七 害虫の驅除と惡癖の矯正法……………五八

八 鶏の更新法……………六二

三 種卵の孵化法……………六五

一 人工孵化と天然孵化……………六五

二 種卵の選み方と其取扱ひ方……………六七

三 孵化の季節……………六八

四 巢卵の選方と抱卵數……………七一

五 抱卵法と續座……………七三

六 孵化の巢箱と其置場所……………七四

七 抱卵中の注意……………七六

四 雛鶏の成育法……………七九

一 人工育成と天然育成……………七九

二 雛の餌料と其給與法……………八二

三 雛の管理……………八六

四 雛の疾病治療法……………九二

五 雛の良否と雌雄の判別……………九四

五 貯金養鶏利益增收法……………九八

一 鶏卵の利益増収は如何したら宜いか……………九六

二 賣雛の利益は非常に大きいもの……………一〇六

三 鶏糞から収益を求めるとよい……………一〇八

四 輕蔑の出來ぬ老鶏の收入……………一一〇

五 飼料代の輕減は利益増収の一法……………一二三

六 養鶏帳簿の準備……………一二三

貯金の鶏の飼方目次

貯金の鶏の飼方
出來る

白松鶏庵著



貯金と養鶏

貯金の最良法は養鶏

【貯金をなすには確實な財源が必要】世の中には貯金の必要な事は百も承知であり、又貯金の實行を勧められるとか、自ら進んで決行ふとする人々はなかく多いのですが、よし實行した所で永續の出來る者は比較

的に少くて、暫時の後には遂に夫を廢するものが誠に尠少では有ません何故貯金の實行を永續する事が出来ぬかと云ふに、其原因には種々有ませうが、結局は貯金の實行に必要な、忍耐、克己、不撓等の精神に缺乏のと、今一つは其實行の基礎たる主要な財源がないからです。元來貯金の性質を充分發揮して全くの効果を見様とするには、必らず確實な財源がなくてはならないので、是さへ有ば如何な人々でも容易に貯金の美德は繼續て行はれますから、如何考へても貯金の實行をなすには、何か確實な財源を見附るのが是非必要だと思ひます。

從來世人の説明する貯金法なるものを見るに、其多くは日常經濟の費用中から餘分を搾出す事を考へようと云ふので有ますが、此處に財源を

求めるは一面から見て誠によい方法で、勤儉貯蓄の美風は斯くして各家庭に養成されるのですから、左様な方法で貯金をなすのは、何人と雖も些の異論を挿さむ餘地のないものです。然し社會が日増に文明に進展と共に其生活状態は次第に向上り、平生の衣食住に對する經費は勿論の事、交際費や臨時費を非常に要求する様になりますから、従つて日々經濟の費中から餘裕を見出すのは益々困難を感じ、貯金の財源を茲に求むるはなかくの苦痛で、折角思立た蓄財の實行も遂に中絶するより外ないので有ます。故に斯様な苦痛の貯金法は文明多費の社會には、全然安全ではないと思ひますので、私は此方面の研究に深く腐心したのですが、如何しても貯金の財源は何か確實な副業、安全な内職に依る收入から得

る外はなく、本業の収益は日々経済の費途に向て、副業の収益のみ全部
 どうか、若くは其幾分を積立る様にして行けば、極めて愉快に何等の苦痛
 をも感ぜぬ貯金が永續されるので有ます。然らば貯金の財源たる副業に
 は、何が宜かど云ふに、是は種々有ませうが極く手軽で殊に地方等の家
 庭に最も適當なものは、實に養鶏以外には餘りないだらうと考へますか
 ら私は貯金の好財源を得る法として次に養鶏に就て種々な説明を試み様
 と思ふので有ます。

【養鶏は貯金の好財源】 養鶏をなせば毎日何程宛かの採卵が出来て、夫
 は相當の價格即ち一顆三錢とか五錢程になりますから、不斷的収入が見
 られますので、貯金の財源としては誠に確實で安全なものだと私は確信

するので有ます。例へば今茲に一雄九雌の養鶏をなす人があるとしたら
 一箇年には普通の成績でも千八百顆内外の鶏卵が得られ、毎日平均五顆
 宛として一顆三錢五厘に見ても、十七錢五厘の不断的収入があり、一箇
 月には五圓二十五錢となつて充分貯金の財源になるでは有ませんか。又
 外に雛鶏を仕立て賣却する利益、鶏糞の利得、老鶏の收入等を計算しまし
 たら、なか／＼其収益は尠々でないので、餘程豊富な貯金財源を得る事
 は、決して困難なものでは有ませぬ。だから更に其財源たる確實な例證
 として私は養鶏の利益を説述の必要を持つのですから、養鶏の利益なる
 ものに就て其解説をいたしませう。

【貯金財源から見た養鶏の利益】 養鶏の利益は其鶏の種類、年齢、飼養

法等に依つて一定しませんが、私は誰が實行ても必ず得られる普通の成績に就て、其大略をお話しますので。何處か宅地の中に僅少な空地を認めてほんの五羽を飼養ますと、一箇年には七八百顆の採卵が出来て其収入が百拾五六圓位、鶏糞の價格が二圓八九拾錢合計二十八圓程ですが、更に雛の二十羽種卵の五十顆も賣却する此利益が五圓内外は確實で總計では二拾圓以上になるので有ます。又私が實驗した拾羽及び二十羽養鶏の利益は、

種名	羽數	收入			支出			決算
		食用卵	種卵	糞	飼料代	諸雜費	合計	
黒色ミノルカ	二〇	三、二五〇	八、〇〇〇	一六、〇〇〇	五、一五〇	六、〇〇〇	一六、〇〇〇	二、〇〇〇
白色レグホーン	二〇	七、〇七五	一三、一六〇	二〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一八、〇〇〇	二五、〇〇〇	一、一六〇

斯様ですが、要するに養鶏の利益は其人の手腕の巧拙如何に存するの
 で、或人は十羽から四十圓得たと云ひ、或者は三十圓採たと申す様に、
 必ず一定したものではありません。兎に角是程の利益があれば、貯金の
 財源としては實に立派なものですから、私は是を地方農家や村落の青年
 及び婦人子供等の實行する様、大に鼓吹するのであります。

二 養鶏から生ずる千圓貯金と種々な貯金

【二十羽養鶏の利益で千圓貯金】千圓の金は大金で有ます、失禮ながら
 地方の散田百姓の方々に取つては實に大金であります。今一村を通じて
 小作農夫や其他の中に千圓の大金を所持する人々が有ますかと調査たら、

恐らく十指を悉く屈する迄には及びますまい。然るに此千圓の大金を容易に貯金する近道は何かと申すに、夫は廿羽養鶏の利益を毎年七十八圓宛十箇年引續き積めばよいのですから、次に其實際を語るための貯金積立表を御覽に入ませう。

利 率	三年目	五年目	七年目	十年目
年利 五分	二五、二九	四五、五九	六六、八三	一〇三、二九

何とまあ驚くでは有ませんか、僅か一顆二顆と云ふ鶏卵の價格も是を積立て止まぬ時は、塵も積れば山となる譬に洩す、僅々十年間に千圓の大金となるので、斯様な苦もなく樂に出来る貯金法は決して他にはないので、如何に養鶏の利益が確實な貯金の財源であるかは、是を以

ても極明瞭な事實であります。故に朝から晩まで汗水流して勞働しても一錢の貯金さへ出来ぬ人々は、宜しく速かに此愉快な貯金法を實行のが、最も賢い方法であると私は切にお勧めいたします。

【養鶏の羽數と貯金額】 千圓の大金貯金が二十羽の養鶏から苦もなく出来る事は、既に説明致しましたから、私は尙少數の養鶏からは五年十年の間に何程の貯金が生じますが、又二十年三十年の長年月貯金して止まない時は如何に大金となるのか、夫を説明して参考になすと共に、其實行成功を切望して止ませぬ。

年 次	五 年 目	十 年 目	十五 年 目	二十 年 目	二十五年 目	三十年 目
五羽養鶏の利益金の 中毎年十二圓宛預	七、九二四	一六七、六六〇	二九六、〇七〇	四六七、九二三	六九七、八七七	一、〇〇五、六二〇
十羽養鶏の利益金の 中毎年廿四圓宛預	一四三、四〇八	三三六、三二九	五九二、一四一	九三五、八二五	一、三九五、七五三	二、〇二一、二四〇
十五羽養鶏の利益金の 中毎年卅六圓宛預	二二五、〇四一	五〇二、九七九	八八八、二一一	一、四〇三、七三八	二、〇九三、六三〇	三、〇二六、八六〇

二十年三十年と云ふ月日は今から思へば實に長い様なもの、光陰は矢の如しで、日々自己の職業に従事して樂む間には忽ち來て、二千圓三千圓と申す大金は必ず擱まれるのですから、先づ十羽から十五羽位の養鶏を行て、二三十年間の努力の結果を期するのが宜いと思ひます。

【農村青年と養鶏貯金】 農村青年諸君は個人として貯金の必要な事は勿論で、遠き將來の計を立るも其主要な義務ですが、斯様に非常な前途を考へずとも、自己が獨立する年齢即ち廿五歳とか三十歳のあたりを目標に、青年時代から貯金するも亦頗る肝要な事ですから、私は是を大に希望いたします。さて本年十五歳の青年が僅か十羽の養鶏を實行して十年間引續き毎年貯金したら、四百圓位の金は得られて、二十五歳の時には何か獨立してなす資金位は出來ますが、若し十五羽ならば五百圓以上の金が擱まれます。又本年十七歳の青年が何處か宅地の内を利用して、十五羽養鶏を熱心に行り、其利益の中三十六圓宛を毎年貯金したら、満三十歳の時には千圓近くの金を得て、農業改良の費途に利用されます。だか

ら兎に角農村青年は獨立資金收得のため、貯金養鶏の實行を期して、事業の企圖、義務の遂行をなさねばなりません。

【養鶏利益と婦人子供の貯金】 總て御婦人方は自ら多くの收入を得るものでないから、澤山の貯金をなす事は出来ませんが、一家の主婦たる方は日々の生活費から、何程宛かの剰の金を作つて貯金するとか、何かの内職から得た收入を貯へるより外はないのです。だから御婦人方は此貯金をなかく、困難なものとして居られる様ですが、私は茲に或最も手輕で非常に愉快な方法として、此貯金養鶏をお勧め致します。夫で是に依りますと日々の生活費から剰の金を抽出す苦痛も、疲労の多い内職をなす必要もなく、只朝晩や晝の極く僅かな手数と、臺所の殘物利用位で

其收益は比較的多く、知らずくの間面白おかしく貯金が出来るのですが、私の知つて居る婦人の中にも數羽の養鶏から十年近くの間に二千圓程の貯金をなした方や、又十羽の鶏飼で八年間に五百圓の蓄積を得た者が實際ありまして、よく貯金養鶏の實狀を語つて居ります。

子供衆は金錢に對する自覺心がまだ有りませんから、其日々の小遣錢を欲して夫を漫然消費すばかりですが、其結果は自然金遣ひの荒い者となつて、行末は實に恐るべき方面に進む様になります。故に子供の時から金錢の貴重なる事をよく辨へて、無益の消費を避け更に一步を進めて貯金の習慣を養成がよく、夫には何か財源を選ぶ必要がありすが、子供の事ですから餘り勞働も出来ずまいので、矢張養鶏を行るのが宜い

と思ひます。而して毎日其産だ卵を賣て此代金を學校の郵便貯金か、或は直接郵便局に依頼しますと、知らず／＼の間に澤山の蓄財が出来て、誠に愉快なものですから、私はお子供方に此貯金養鶏を大にお勧め致します。

【十羽の養鶏で子女の學資と嫁入仕度】 十羽の鶏から子女の學資と嫁入仕度が得られると私が申したら、實に不審を抱かれる方々も方りませうが、よく／＼考へて御覽なさい。如何に拙劣に飼つても十羽の鶏からは毎年純益が三十圓は得られますので、今年男子が出生したら、直に此十羽養鶏を始めて、年利五分の貯金を實行して止みませんと、此男子が尋常小學校を卒業した十三歳の時には、五百一圓三十八錢九厘の金が積

立てられて、中等教育を受けさせる位の事は容易に出来ます。又同様の貯金を實行いたしますと、今年産卵を擧げた女兒が二十歳の春を迎へて結婚する時には、九百六十一圓九十七錢九厘の大金が得られました、相當の嫁入仕度が出来ますから、如何しても私は此貯金養鶏のお勧めをして止まない譯であります。

【其他種々な貯金】 私は養鶏利益の貯金に就て斯様に説明を致しました、其他一種の貯金法として養鶏の利益で勸業債券や貯蓄債券を買込で割増金を樂むもよく、生命保険に加入して、何年かの後に數百圓の大金を得るも、亦無盡の掛金として將來の入金を見るも、或は銀行會社の株を少々でも手に入れて株主となるも大に宜らうと思ひますから、參考の

ために一寸申述て置くのです。

三 養鶏は誰にも容易に出来る有望なもの

【手輕な飼養】 貯金の目的で養鶏をなすには僅かな土地を利用し食餌も有合せの物で宜いから、敢て堂々たる男子は勿論の事、老人や女子供杯にも極く手輕く愉快になし得るものです。即ち貯金養鶏では軒下か庭園の僅かな土地を用ひて五羽から廿羽位までの鶏を飼ふのですから、其飼料も五羽や十羽なら毎日臺所から出る残飯、野菜切、魚鳥獸肉屑を極く少最の米糠、麥糠、豆腐粕、雜穀類等があれば充分で、十五羽から廿羽ならば此廢物の外に種々な物を他から安價に買込で給與ればよいのです。

故に地方農家では貯金養飼に要する位の土地と飼料は充分ありますから何の心配もなく、彼の秋季收穫の際に粃米や其他の屑米を準備するとか麥取入の時に荒麥を用意して置けば、養鶏の飼料には事缺くものでは有りませんが、又時々料理から出る魚屑ばかりでは不足する場合には、附近の川、池、沼等から種々雄魚、小海老等を捕獲て與るか、蝗虫、蠶蛹の類を給するもよいので、兎に角飼料と申しても斯様に手輕なものであります。

夫れから其日々の管理も朝夕の極く僅かな時間や、食事後の一寸した休憩時に食餌を與るとか、飲水を給するとか、糞除をなすとかすれば宜いので何の煩はしい面倒も感じません。殊に手輕を感ずるは地方農家

の様な極く広い宅地を有する處で、放飼にする事ですが、是は實に世話入らずの最も好都合な方法であります。

【僅か許の資本】 養鶏の手輕な事は斯様ですが、是を實行するに就ての資本も亦僅かばかりのもので、鶏舎も納屋か母家の一部分を利用する時には、手前細工の費用なしで間に合ひ、運動場の欄柵も竹、葦等有合せの材料でよく、若し鶏舎を建築るとか、柵用の金網を買ふとしても、僅かな養鶏なら三圓か五圓で相當の設備が出来、半年も経過ぬ間に資本は急ち取返し得られるのです。又飼料代も前申した通り廢物を主とする時には殆ど要せぬのですが、買込むとしても鶏糞の賣上代金で其半分は容易に補助されますので、誠に貯金養鶏は僅か許の資本で實行されるので

はありませんか。

【飼養の安全】 貯金養鶏では其羽數が極少數で、費用も多くは要せず、種々の器械や困難の技術を必要するものではなくて、日々入要な食餌も市街地と農村とを問はず自由に得られ、又氣候の變化から受る危険もないのですが、其生産物の鶏卵や鶏肉の價格に非常な變動と損失とを招くと云ふ經濟上の恐慌もなく、總てに就て實に安全なもので有ります。

【貯金養鶏の前途は頗る有望】 近來肉食の風が盛に流行するにつれて鶏卵、鶏肉の需要は日増に多く、殊に鶏卵は只其儘食用となすばかりではなくて、菓子製造の材料や化粧品の原料其他工業の用途に使用される様になりましたから、需要方面は日々擴大されつゝあるのです。然るに現

在 我 國 内 の 生 産 高 ば かり だ け で は、 其 需 要 に 大 き な 不 足 を 告 げ る の で、 毎 年 外 國 か ら 數 多 の 輸 入 卵 を 仰 ぐ 状 況 に あ り ま す か ら、 益 々 自 國 の 生 産 増 加 を 計 畫 の 時 代 に 有 ま し て、 其 前 途 は 大 に 有 望 の も の で す。 又 養 鶏 の 副 産 物 た る 羽 毛 も 種 々 な 装 飾 や 蒲 團 綿 の 代 用 に な り ま す か ら、 相 當 の 販 路 を 持 ち ま す が、 彼 の 鶏 糞 は 肥 料 と し て 非 常 に 有 効 な も の で、 其 價 格 も 年 々 上 騰 ば かり の 有 様 で す か ら、 養 鶏 の 前 途 は 眞 に 洋 々 た る も の で は あ り ま せ ん か。

四 最 も 貯 金 養 鶏 に 適 當 し た 種 類

【卵用種と其説明】 現今我國に飼養されて居る鶏の種類は約五十種類あり

り ます が、 是 等 の 中 で 最 も 適 當 し た 採 卵 用 の 實 用 鶏 は 『卵 用 種』 で、 貯 金 財 源 を 得 る た め の 飼 養 に は 最 も 有 望 で あ り ま す。 卵 用 種 は す べ て 多 數 の 卵 を 産 み、 就 巢 の 念 は 稀 で す か ら 採 卵 の 目 的 に は 大 に 宜 い で す が、 一 般 に 體 軀 は 輕 快 く 脂 肪 に 乏 し い の で、 肉 味 は 惡 し く 食 用 に は 餘 り 適 し て 居 り ま せ ん。 此 種 は 動 作 が 敏 捷 で 能 く 高 飛 を な し 廣 い 場 所 を 好 む か ら 柵 飼 よ り も 放 飼 に よ い 成 績 を 見 ま す が、 早 熟 早 産 で 體 軀 の 強 健 な 誠 に 愛 嬌 の あ る も の で す が、 其 中 で 實 用 向 の 最 も 飼 養 に 容 易 な も の は 『褐 色 レ グ ホ ー ン』 『白 色 レ グ ホ ー ン』 『黒 色 ミ ノ ル カ』 で す か ら、 次 に 其 各 種 の 略 説 を 致 し ま せ う。

(1) 褐色レグホーン 是は『レグホーン』中の産卵數最も多きものにて、

白殻の端麗な十六七匁の卵を一箇年に二百五六十顆産みますが、羽色は頭部と肩部は赤栗色、尾羽は黒色で、他は概ね褐色と黒色との緻密な線紋から成て頗る美麗です。而して『サイファア氏』系のもものは、長身で産卵力強く、寡食だから實用として好評を持ちますが、此種は雄六百匁雌四五百匁の小形であります。

(2) 白色レグホーン 本種は現今普く飼養されて居るところの鶏で、米國『ヤング氏』と『ハワード氏』系との者が我國に輸入されし以來好評湧くが如く、白色の鶏と云へば、直に是を指す様によく知れて來ました。雄は六七百匁雌は四百匁位、矢張早熟多産で一箇年に二百四五十顆を産み、卵量は又大きくて、一箇十七八匁有ります。而して其

羽色は純白雪の如く姿勢は優美で、實用觀賞共に具備て居りますが、雛の發育は大によく飼養には最も適當です。

(3) 黒色ミノルカ 是は地中海『ミノルカ島』の原産で、黒色の美なる光澤ある羽毛と豊大な冠と肉髯及び圓大なる耳朶とを持ちますから、非常に艶美なため愛鶏家間に好評噴々たるものです。而して卵用中體格の大なるため卵量も亦大きく、一顆二十匁の卵を年に二百二十顆産みますが、幾分多食の嫌があると、體質稍虚弱なため、寒地の飼養に不向なのは、實に遺憾だと思ひます。

【兼用種と其説明】 是は其目的が卵肉兼用にありますから、形態や性質が卵用種と肉用種との中間にあるもので、卵も多く産み肉味もよく、且

つ就巢性に富んで孵化育雛に非常に巧妙ですから誠に調法の鶏です。又其性質は温順で幾分粗食に堪へますから取扱によく、柵飼に最も適當なので、近來地方の農家や其他の家庭で追々飼ふ様になるのは實に當然のことです。而して是には種々ありますが、貯金養鶏に最も適當したものは『名古屋コーチン』、『横班プリマスロック』の二種ですから、是等を飼ふが最も得策では有ませんか。

(1) 名古屋コーチン 此種は明治初年頃我國の名古屋地方で成立したもので、雄一貫目雌八九百匁一顆十六七匁の赤殻卵を年に百八九十顆から二百顆産み、其性質温順、體軀強健、よく粗食に堪へて狭小所にも多數を飼はれ、一坪に五六羽は儘によいのです。而して肉味は良

く、孵化育雛にも巧妙な、『生きた孵卵器』とまで呼ばれるのですから頗る調法ですが、其羽色は多く淡黄赤色で、總ての點から考へても土地狭小い町家や、多忙な農家に適應した實用鶏であります。

(2) 横班プリマスロック 本種は『プリマスロック』中最も實用向の鶏で卵肉兼用鶏中の優等種であります。一顆十六七匁の赤殻卵を年に百五六十個産み、體量は雄一貫目、雌八九百匁ですが、其性質温順で就巢の念に富みますから、孵化育雛が最も巧妙なものです。而して此鶏の肉味は最もよく一種の風味を持ち、又其態度は何となく氣高い實に立派なものですから、近頃諸處に飼養される様になりました

五 貯金養鶏の諸注意

【多種類飼養の弊害】 私の申す貯金養鶏では多種類を飼養する事は實に大禁物で、彼の同一場所に雄は『ミノルカ』で雌は『白色レグホーン』とか雌は『名古屋コーチン』で雄は『褐色レグホーン』とか云ふ様なものや、僅々十羽の中に種々雑多な鶏種を含むのは、非常に不快な事です、斯様にすると鶏各種が勢力競争の上から種々な忌はしい故障を惹起し、又は劣等な交際を生じて下等の種類や生産力の薄力なもの許になり、遂に養鶏の目的は達せられぬのですから、此点には非常な注意を希望します。

【二種類の飼養が最も愉快】 五羽から十二羽程の養鶏では一種類に限る

のですが、十五羽から廿羽になると只一種類でも餘り趣味の薄いもので二種類即ち卵用種を多く兼用種を少くするのが最も妙です。例へば十五羽の中で或柵内には『白色レグホーン』を十羽飼ひ、『名古屋コーチン』の五羽は放飼にするとか、又兩種とも別處の柵飼になす様な方法にするが宜しいです。斯様に兩種を飼養すると、卵用種は専ら採卵の利益となり兼用種は卵肉が得られるばかりでなく、天然孵化を行つて育雛の働さをする能力が有ますから、誠に好都合だと思ひます。

【雌雄の配合數】 元來鶏の性質として雄がなくとも産卵するので有ますが、其無精卵と云ふのは孵化の出来ぬ、種卵には駄目なものです。然し夫は他の卵よりも長い間の貯蔵に堪ると申して、採卵の場合には雄は全

然無用であるといふ人々を見ますが、鶏は雌ばかりで有ますと、教導者が無いために少しの物音や何かにも容易に驚き騒ぎますから、却て夫が大害を及ぼして産卵歩合に關係するので誠に宜しく有ませぬ。だから我貯金養鶏では可成く不經濟にならぬ様にして、雌十羽に雄一羽或は廿羽に一羽若くは二羽位となすが、最も適當だと私は思ふのです。

【多産鶏と健康鶏】貯金養鶏に於ては實例が目的ですから、利益の多い鶏即ち産卵の多いものを選ぶがよく、斯様にすると採卵からの収益が非常に増加して、目的とする貯金の財源は容易に得られますから、必ず此多産鶏の飼養を忘れてはなりません。又鶏は何處に飼養しても必ず適するものではなく、寒地と暖地等夫々適應した種類がありまして南日本

の諸地に適した『ミノルカ』は北海道から東北地方には不向です。だから飼養者は氣候風土と種類と云ふ事をよく考へまして、自分の住地に適應した鶏を選ぶがよく、兎に角多産鶏と健康鶏とは我貯金養鶏者の大に注意すべきもので、成可く多くの利益を占めて、貯金の増殖を謀るがよろしいので有ます。

二 成 鶏 の 飼 養 法

一 放 飼 と 柵 飼

【放飼】放飼とは鶏を宅地や庭園の中に放つて彼等の自由に任せる飼方ですが、是は一日一回若くは二回位食餌を給與ればよく、又鶏は広い場

所に思ふ儘の生活を営みますから、病氣や害虫に侵される様な心配は少しもなくて、卵も多数に産み、殊に卵用種の『レグホーン』、『ミノルカ』等には此放飼が最もよい成績を示すので有ります。だから十羽や十二三羽の養鶏には、此飼方をお勧めいたしますが、然し農作物や花壇等を荒す嫌がありますから、播種時や收穫期ばかりは、一時柵飼とすれば大きな被害もなからうと思ひます。

【柵養】 何處か適當な場所に柵を設けて其内に鶏を飼ふ方法を柵飼と申しますが、是は毎日の食餌・飲水をはじめ、種々の管理に手数を要するも、放飼の様に作物、花壇等を侵す心配は少しも有りません。而して兼用種の『名古屋コーチン』又は『プリマスロック』を飼養には此方法が最も

よく、非常に趣味の有るものですが、貯金養鶏家は多くの場合は是に依るでせうから、以後私は此柵飼養鶏法に就て、其總てをお話し致すのであります。

二 鶏舎と運動場

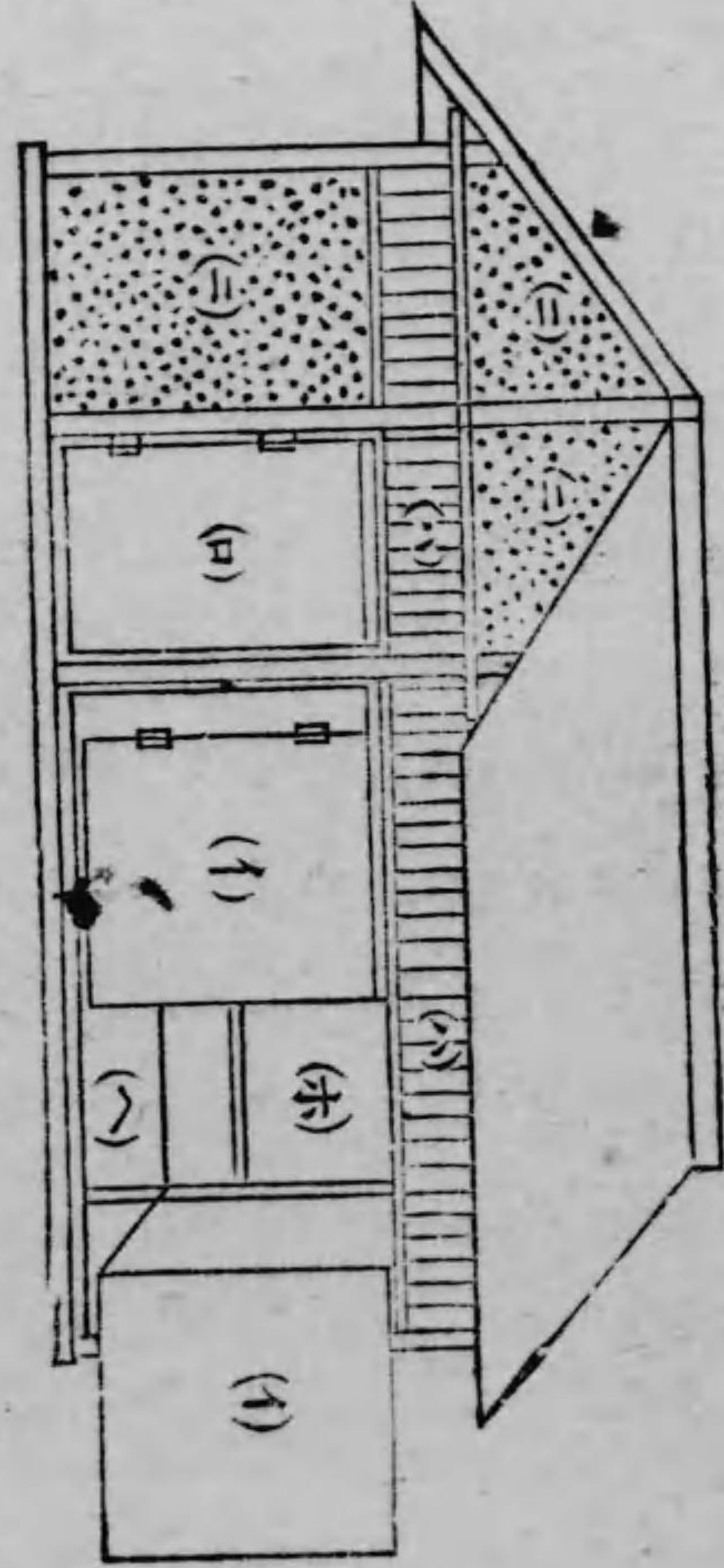
【鶏舎の位置】 鶏舎は鶏が安眠や産卵をなし、或は孵化育雛をなす最も大切な箇處ですから、貯金養鶏家は必ず是を設立ねばなりません。特に建築なくも納屋か母家の一部を利用してよく、要は鶏の衛生と管理とに適當する様取計ふのであります。夫で鶏舎を設けるとしたらば、第一其位置の選定が最も必要で、今其注意事項をお話すると、

- (1) 常に乾燥して雨後と雖も直ぐに排水の出来る、然も温暖な場所なる事
- (2) 鶏舎の方向は正南を第一とし、東南之につき西向、北面は餘り感心せぬこと。
- (3) 北方に家屋又は樹木等があつて、冬季の寒風を遮断り得る箇處を選

む事。

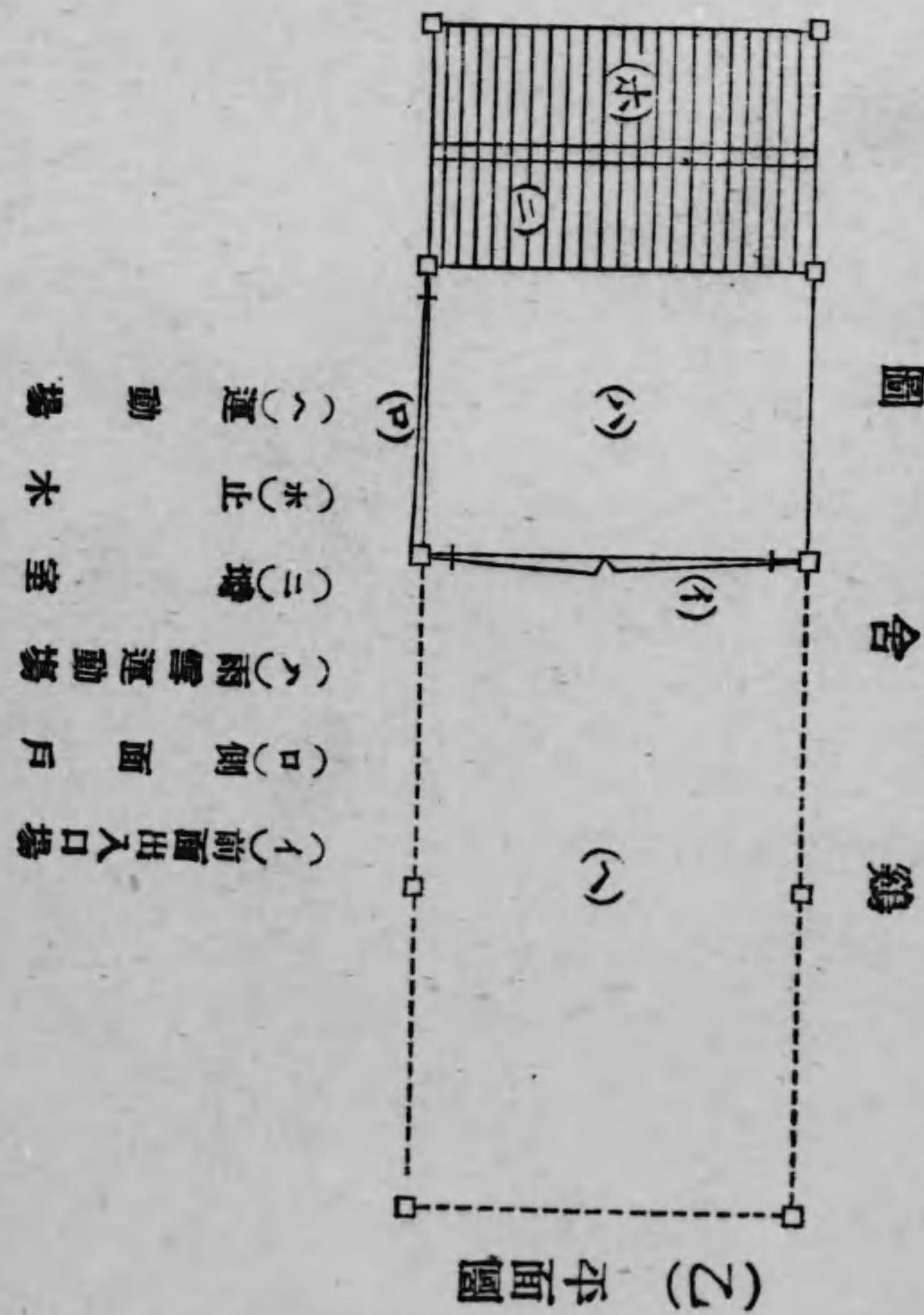
などですが、斯様に理想の場所は見付りませぬから、成可く是に近寄た土地を選び、或は人工を以て排水するとか、樹木を植て寒風を防ぐとかするのが宜しいので有ります。

【其建造法】 鶏舎の面積は鶏の大小と其羽数とに依て加減を要しますが半坪の舎内には五六羽、一坪の舎内には十二三羽を超過てはなりませぬ



図全(母)

- (1) 前面出入口
- (2) 側面戸
- (3) 引窓
- (4) 壁
- (5) 内
- (6) 雨風運動部



さて十羽養鶏の鶏舎に就てお話しすると、間口一間半奥行一間半位のもので、是を峙室と雨雪運動場とに區別ち、峙室は地上から一尺二寸程も離れた箇處に、幅一尺五寸程の糞受板を峙室の長さ同様に置き、夫より一尺許上方に隔て、留木を糞受板に沿ふて設け、板の下方には産卵箱を置くので有ます。而して鶏舎の外部は一方運動場に面した處と側面とに出入口を開いて戸を設け、他の箇處は皆板張となして舎の上部には引窓を造り、寒き時には閉ち暑き時には開き、専ら鶏の衛生に適する仕組となすので有ます。内部の四方は矢張板張がよく、雨雪運動場は砂礫を以て堅い叩地となして、鶏の掘起しを防ぐ様になさる。

【運動場の面積】 運動場は廣ければ廣い程よく、卵用種は其性質上可成

く廣い様になすので有りますが、普通五羽までは一坪か一坪半、十羽迄は三坪位で、兼用種は少し位狭くても差支なくて、一坪に五六羽は飼るのです。夫で一般から申せば運動場が狭過ぎると、病鶏を出し或は産卵が減退から、養鶏家の大に注意すべき事であると思ひます。

【運動場の設け方】 是は鶏舎の入口に續いて設けるのが頗る便利で、止むを得ぬ時には鶏舎と運動場とを離しても害はないのです。而して其周圍には竹、葦、細木等何にても鶏の逸出と害敵の侵入を防ぐ程度の物で柵を廻らしますが、堅牢で永續が出来且つ體裁の最も宜いのは、鶏舎用金網の使用であると思ひます。又鶏は夏の強烈い光線を厭いますから、運動場には落葉樹の様な、夏繁茂り冬凋む類の樹木を植て、綠蔭を作る

のでありますが、私は葡萄棚を設け、梅樹を植込み、桃や其他の果樹をあしらつて見たことがあるので、是もなか／＼面白いものです。

三 飼料の種類と給與方

【普通飼料】 一口に養鶏飼料と申せばいと簡單な様ですが、是には種々な物を含むので、其『普通飼料』と云ふのから御話すると、『植物質飼料』と『動物質飼料』とがあります。夫で植物質飼料とは、玄米、小麥、大麥、燕麥、粉粃、粟、稗、玉蜀黍の如き穀實類、米糠、麥糠、麩、挽割粉、麥粉、荒粉、油粕、大豆粕、豆腐粕、飴粕の様な加工副産物及び京菜、小松菜、青菜、軟草類等で、是等は又基本飼料とも申すべし甚だ重要な

ものです。

動物質飼料は私共の副食品の様な物で、魚肉、鳥獣肉、骨類、乾血、昆虫類、乾魚、糠海老、貝類等で有りますが、私等の身體に肉類が必要なる如く、鶏にも是等總ての肉類を要するのですから、常に自家食用の殘物、切屑、臟腑、川魚等を給與するが宜いのです。

【特別飼料】 鶏には口腔に齒が有ませんから、胃中の食物を磨碎いて齒の代用をなし消化を助けるために小石、硝子片、瀬戸物片等を與へる必要があります。又卵殻の成生に要する石灰質を攝るために貝殻類を給與し、或は胃中の掃除をなすために、木炭末をも與へるのでありますが、眞夏や嚴寒の際には唐芥子、胡椒等を興奮劑として用ふるので、柵飼の

鶏には殊に此特別飼料の結與を怠つてはなりません。

【飼料の調合】 總て鶏の食餌は如何して給與かと云ふに、穀實の様な粒餌は其儘撒布てもよいが、他の糠類や粕類は是を動物質の物と調合して與へるのが鶏には非常に甘く喰られ、又比較的廉價で經濟的のものであります。即ち魚肉、臟腑、鳥獣肉、獸骨、生魚等は生物の儘與へますと鶏には有害ですから、一度湯煮とか焼くとかして、骨ぐるみ碎粉さ、糠類、粕類と混合して所謂『練餌』と申すのを調製してやるのが最も宜いのです。

【練餌】 是を調製するには先づ麥糠、米糠、穀、豆腐粕、蕎麥粉等と魚肉、鳥獣肉の煮沸のとを取混ぜて夫に青菜の刻片を入れ、前の煮汁でバ

ラリとする様に掻混るのであります。私の實行するのは至極簡單で、臺所の料理から得た魚屑の煮汁に米糠と麥糠と青菜の刻片とを混和して掻くのであります。五羽から十二三羽の養鶏では、練餌を調製にしても、餘り多くの材料は要らぬのであります。而して材料の配合は適當になすので、動物質が多過ぎると脂肪症に罹つて産卵せぬとか、胃腸を害して下痢を起しますが、又糠類や粕類のみに傾いても宜しく有ませんから、一寸考量を要すべきものです。

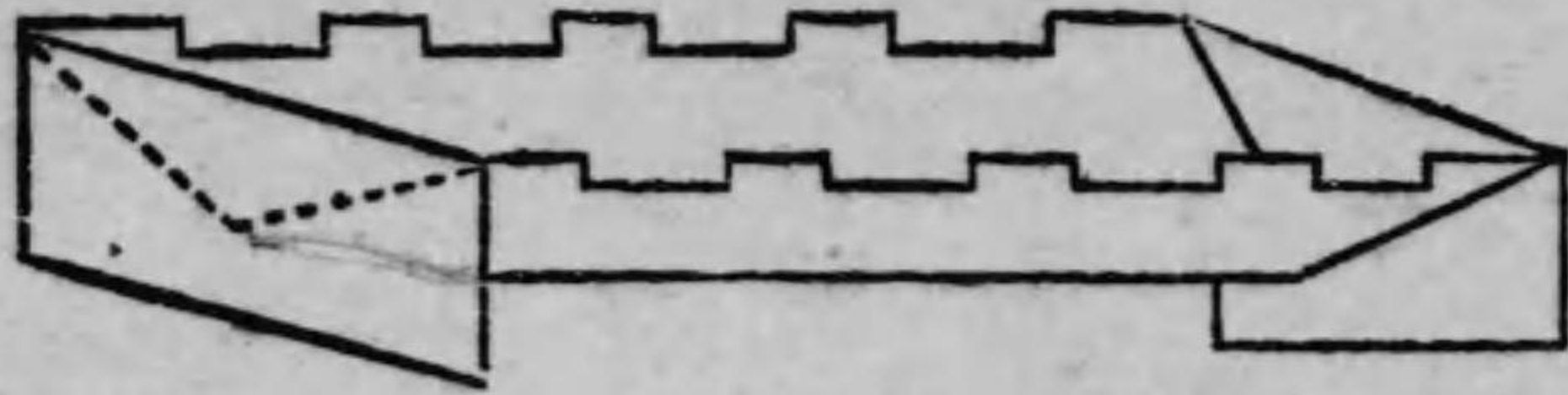
【給餌法】 一日三回で朝餌は粗食でもよいが、晩餌は良品を用ひ、其分量は鶏の種類と時期とに依りて一定し難いのです。然し給餌後二時間を経過して餌器を検するに、喰殘も喰ひ不足もない状態をよしとするので有ま

す。今参考のため一雄九雌に給與する一日分の食餌量を示しますと、

- △朝餌(練餌) 一、麥糠五合。一、魚屑十五匁。一、青菜刻四撮。
 - △晝餌(粒餌) 一、雜穀二合。一、青菜刻若干。
 - △晩餌(練餌) 一、麥糠四合。一、豆腐粕三合。一、青菜刻四撮。
- 一、魚屑十五匁。

斯様なものですが、勿論時季に依り健康状態により、産卵状況に考へて増減あるものと思はねばなりません。夫で私が一雄六雌を飼養した經驗によりますと、自家の廢物で充分間に合ひますが、地方農家等では十羽から十二三羽の養鶏をなすには、敢て飼料は買込む必要がなく、毎年秋季の收穫時に粗米を貯へるとか、麥の收集時に荒麥を用意するとか、其

(器 餌 給)



△晩餌(練餌)

- 一、米糠四合。
- 一、残飯二杯。
- 一、雑穀二握。
- 一、青菜三杯。

の様な廢物でありますが、是でも相當の成績は見られますから妙です。而して以上述べました食餌の中へは、毎日特別飼料の貝殻や木炭末を混和して與のは勿論ですが、尙十五羽二十羽の一日分の食餌量を記載と次の様であります。

- △十五羽一日の分量
 - 一、麥糠一升五合。
 - 一、魚屑約三匁。
 - 一、青菜茶碗七杯。
 - 一、雜穀三合。
- △二十羽一日の分量
 - 一、麥糠二升。
 - 一、魚屑約四匁。
 - 一、青菜茶碗十杯。
 - 一、雜穀四合。

他時々の收穫に種々な穀類を飼料として準備すれば宜いのです。又動物質飼料は附近の川、池、沼等から雑魚類を捕獲して給與へ、蝗虫、蠶蛹等も大に貴重なものです。私は『主食餌』と申して日々給與する主要な物を麥糠、米糠、豆腐粕と雑魚類及び残飯、青菜として居ります。而して一雄六雌の一日分餌量は、

△朝餌(練餌)

- 一、残飯洗流其他茶碗三杯。
- 一、麥糠三合五勺。
- 一、青菜刻茶碗二杯。

△晝餌(粒餌)

- 一、雜穀一合五勺。
- 一、青菜若干。

(器 水 飲)



是以外に一週二回位豆腐粕三合宛及び鳥獸肉類若干を給與し、其他種々なものを適宜與のであります。鶏の食餌量は飼養者の考へ次第でよく、要は其時々鶏の食慾と産卵や健康の状況によつて加減するのにあると思へばよいのです。

【飼料の變化】 鶏の食餌は大略斯様であります。四季折々の氣候に關して其材料配合に變化をなす事も大に必要ですから、飼養者は可成り得るに任せて種々な物を給與するが宜しいのです。即ち春季は一般に産卵の時期ですから、食餌も産卵を促す様な上等の物や、『軟殻卵』を防止ぐために貝殻類を與へ、又多量の青菜や軟草類を缺いてはなりません。六月頃の梅雨期には鶏が大に衰弱する時ですから、普通の飼料以外に胡椒

唐芥子等の與舊劑を食餌に入れて與へ、林檎酸丁幾、鐵水等を少量ばかり飲水に落して與が鶏の健康に最も有効であります。而して夏季は動もすると食餌が腐敗しやすいから、前日の晩に調製した練餌を翌朝與るとか、朝の晩に與へる様な事は必ず避て、慾を云ふならば練餌よりも粒餌を多く與へ、梅雨期の様な特別飼料をも缺てはなりません。此時季には蝗虫、バッタ等の晩虫や蟬が多いから、可成り夫等を多數與へる様になさい。秋季は換羽期と申して總ての鶏が衰弱する厄難季ですから、土等の食餌を與へて粒餌の如きも多くなすのだが、動物質飼料も増して、鶏を斃死ぬ様な方法になし、又特別飼料も必ず與が宜しいのです。冬季の飼料は脂肪分の多い食餌即ち動物質と與舊劑、強壯劑をも大に給與し、

寒國地方では野菜類を可成用意して與へ、練餌も凍り易いから微温湯で掻いて調製様になすが大に肝要であります。兎に角我が貯金養鶏では勉めて多くの利益を目的とするのですから、其地方や自家で容易に得られる安價で然も滋養分多い飼料を與へる様になすのを決して忘却てはなりません。

四 成鶏の諸管理

【一日中の管理】成鶏の管理には其飼養に就ての種々な世話を云ふのであります。今日一日中の管理に必要な事柄の大略をお話すると、まあ次の様なものであります。

(1) 朝の管理 可成早朝に飼料を調合し、夫が出来たらば餌箱に配布のであります。此時昨日の喰残が有た時は、是を取捨て清潔になすので有ます。斯して食餌の準備が終れば鶏を運動場に出して自由に食餌を攝せ、其際よく鶏に異状なきや否やを見定め、舎内の掃除をなすのであります。是は至極大切の事で、其舎内が鶏糞で不潔な時は、種々の恐怖べき害虫や鶏病を生じますから、必ず「清潔」の二字を堅く守つて、殊に夏季や梅雨期には一層の清潔を欲するので有ます。

(2) 晝の管理 別に作業は有ませんが、只少量の粒餌を給與のと飲水を取換るのと採卵をなす位のものです。

(3) 晩の管理 午後三時頃に晩餌を與へ、鶏の羽數に注意して充分食餌を喰させ、自然に舍内に入るを待て、其時木に就るを見た後に戸締をなすのであります。

【四季折々の管理】 一箇年中にても時季に應じて氣候は種々と變化するものでありますから、是に従つて鶏の管理も亦自から相違する理由ですが私は今次に其極く概略をお話いたしました。

(1) 眞夏の管理 眞夏の強烈い光線は鶏に大禁物ですから柵飼の場合には運動場の上に葦簣類を以て天井をなし、或は前に述べた如く樹木を植付て日陰を作るのですが、又夜間は鶏舍四周の上窓を開いて清涼し、且つ窓には古蚊帳か何か極く薄い空氣の流通し易い布片を張て

蚊の攻撃を豫防のです。又鶏舍運動場の清潔は極く必要ですから、糞掃除は嚴重に行つて、飲水も常に清淨なものを與へる等、萬事によく注意なす。

(2) 梅雨期の注意 最も警戒を要すべき時で、其濕氣は鶏に大禁物ですから、常に鶏舍の『清潔』と『乾燥』とに意を用ひ、練餌は其水分を可成少量になし、糞の鶏除は一層嚴重に行ひ、『デシンヘクトール』や『クレシン』或は『リゾール』で鶏舍の板目、時木、産卵箱其他をよく消毒して、『除虫菊粉』、『硫黄華』等の驅虫劑をも撒布するので有ます

(3) 換羽期の管理 毎年秋季は鶏の『換羽期』と申して、總ての鶏が羽毛の生換る時ですから、非常に鶏體が衰弱て産卵を中止て居りますが

卵を産ぬからとて其取扱を粗略にする事なく、勉めて上等の食餌や強壯劑を與へて、早速く換羽を終了せぬと、斃死ことがありますから此時季の管理は大に注意を要します。

(4) 嚴寒の取扱 鶏は寒氣のため非常に産卵力を阻害するものですから寒氣の強い北風や西風はよく是を防止ぐ方法を探り、勉めて温暖な様になすのであります。殊に東北地方や北海道等の寒地では鶏舎の外圍を蓆か菰にて圍ひ、舎内には藁や粗穀類を布き、食餌も微温湯で練餌を掻き、鶏の凍傷を防ぐために夜間は特別に『埤箱』を用ひて其中に安眠やう専ら鶏の保護を怠らぬのが肝要です。

(5) 其他の管理 鶏は總て丁寧に取り扱ひ決して手荒い事をしては成ませ

ぬが、殊に『恐怖』と云ふことは大禁物で、採卵種などは子供の追廻しや野良犬に驚いて、三四日間も休産する事はよく有るのです。又種々な手数を掛て來た鶏を一朝の不管理から、狐の攻撃を受けて一夜に數羽を失ふ様な事は往々ありますので、よく鶏舎の戸締り或其他に注意して、斯様な不覺を探てはなりませんぬが、鶏に對しては飼養者は常に親切と注意とを以て、其世話を行ねばならないのです。

五 鶏 の 斷 巢 法

【斷巢とは何か】 總ての鶏は一續産卵をなすと其終頃には就巢の念と申して巢の中に臥して卵を温める事をやりますが、是は兼用種に多く有る

ので、斯様になると孵化の巢鶏にはよいが、採卵は望まれないのです。だから此念を断つ事は採卵上甚だ必要ですから、是非行ふべき事で、其方法を『断巢法』と申しますが、我が實利を目的とする貯金養鶏では特別の場合を除くの外必ず是を實行せなければなりません。

【断巢の方法】此方法には種々ありますが、いまだ非常な名案はなく、其中の二三を調べて見ると次の様なのが行はれて居ります。

- (1) 巢念の有る鶏の腹を三十分位水に浸すか、或は巢の中に杉の葉若くは松葉の様なものを入置こと。
- (2) 交尾力の強い雄鶏と一間四方位の所に置きますと、雄が絶へず交尾を求めて追廻すので、自然と断巢が出来るのです。

(3) 手強い手段で巢念の有る鶏を、土間に二晝夜程断食の儘伏籠を以て被ひ置くこと。

(4) 一寸滑稽ではありますが、巢鶏の尾に細紐で赤や青の色紙か若くは鈴の様な音のする物を結付けますと、鶏は驚いて驅廻り、遂に巢念を断つに至ります。

此外に種々な方法も有ませうから、各自がよく断巢法を考案して、最も手軽な然も有効のものを實行するが宜しいのであります。

六 鶏の疾病と其治療法

【鶏病の治療】貯金養鶏家の最も注意すべきは、鶏病の治療ですが、既

に其病状が私共の目に觸れる様になつた時は、非常の重態に陥つたのですから、其治療もなかく困難となるのです。だから飼養者は常によく鶏病の有無に注意して、共初期軽症の際に手當を施すのがよく、今鶏病數種と其治療法とを話し致しませう。

(1) 脚 痿 症

【病状及び原因】 膝節が定まらず脚が頻りに動揺して歩行ことが出来ず、例へ歩行も甚だしく跛を引き、遂には停立ことがならぬので、伏臥して食餌を攝取する様になります。此病氣の原因は過濕か、寒氣の障害を蒙るに有るので、又發育中に石灰分の不足した場合にも關係いたします。

【治療法】 病鶏を乾燥、温暖な箇處に移し、其飼料中に多くの『米糠』を

加へるがよく、又『石灰分』を含んだもの即ち『貝殻』を與へるので有りますが、尙藥品としては林檎酸鐵の少量を飲せると宜しいのです。

(2) 鶏 痘 病

【病状及び原因】 鶏冠や顔面や眼瞼、脚等に小粒の腫物を生じ、日を経るに従つて次第に膨上り、黒色を帯て遂には失明するに至るのです。其原因は或種の寄生する黴菌の作用や、又蚊が病毒を傳播る媒介をなすので有ります。

【治療法】 病部に『黒砂糖』を塗るか、又は『硫黄軟膏』を塗付け、或は『過酸化鐵』を塗ても宜しく、一方蚊の攻撃を防ぐのであります。

(3) ル ー プ 病

【病状及び原因】 此病氣の開始は眼の周圍に黄白色の粟粒の様な腫物を生じ、眼瞼は遂に腫上つて全く視力を失ふに至りますが、一般に體熱は上騰して沈鬱の状をなし、或は佇立み或は呼吸困難の状を示し、末は鼻孔から粘液を出して悪臭を放ち、頻りに咳嗽を發し、傳染性を帯て來る非常に恐るべきものです。是は寒暖の激變に原因することが多く、又不潔や過濕も大に關係するもので有ります。

【治療法】 傳染性の恐るべきものですから、先づ隔離して傳染を防ぎ、咽喉や嘴の邊を一面に五十倍の硼酸水で洗滌した後、鼻孔の邊へ『コールタール』を塗付けければよいが、重症のものは早く屠殺した方が安全であります。

(4) 下 痢

【病状及び原因】 軟かくて白色に黄色の粘液を混じた糞を漏し、肛門の羽毛を汚す様になります。其原因は不良の飼料を與へた結果、腸加答兒を起したので有ります。

【治療法】 病鶏を温暖かな室に移して消化し易い食餌を與へ、『大黃末』『白堊』『蕃椒』を混て丸薬を作り、朝夕一丸宛服用させるが宜いのです。

(5) 軟 卵 症

【病状及び原因】 症状は只卵殼の薄い卵を産むので、輸卵管の炎症、或は石灰質の缺乏に原因するのでありますが、『横班プリマスロツク』此病にかゝります。

【治療法】 若し石灰不足から来たならば、貝殻を與へ、又原因が他にあらざる時は、『ヒマシ湯』を一匙及び微温湯を與へると宜しいのです。

七 害虫の驅除と惡癖の矯正法

【鶏の害虫驅除】 鶏病に次で最も恐ろしいものは鶏に寄生する害虫で、若し其發生したのを等閑に打捨て置くとは、非常に其繁殖を逞しくして、なか／＼驅除が出来なく、可惜多くの鶏を斃死せしめる慘狀を呈するのです。餌養者は其驅除を必ずなすと共に、其發生を豫防する事が極く肝要で、是には鶏舎内外の清潔が最もよく、實に不潔は害虫養成所ですが、今其主要なもの二種について説明をいたしませう。

(1) ワ ク モ

【加害の狀況】 是は夏季多く發生して晝は板の割目や壁の隙間等に隠れ夜は出て血液を吸ひ、非常に鶏を衰弱させる甚だ微小な害虫ですが、其發生した時は白い粉でも撒たかと思ふ程、鶏舎の板面や埒木に見へるのであります。而して其繁殖は最も迅速ですから、捨置くと殆ど手の施し様がないまでになり、夕方等は鶏が鶏舎に入るを躊躇ほどになります。

【驅除法】 『石油』を板の面や壁の隙間に撒布すとよく、又『クレシン』五十倍の液を注いで鶏舎の諸處を洗ふのですが、其原因は不潔から來るもので、常に清潔法をなすのを怠つては宜しくありません。

(2) 羽

虱

【加害の状況】 羽虱の寄生を受けた鶏は全身の羽毛を逆立て、頻りに嘴や爪で體の各部を掻き、誠に不安の態度をなして居りますが、初め此蟲は鶏の血液を吸ひ、遂には軟毛までも喰ひますから、鶏は次第に衰弱て斃死に至るのです。而して此羽虱は鶏舎の不潔から發生するので、五月から十月頃までの夏季及び冬期など砂浴の出來ぬ際に多く、「ソクモ」と同じく鶏の大敵であるのです。

【驅除法】 『除蟲菊粉』、『疏黃華』、『ナフタリン』等を羽毛の間に摺込ばよろしいのであります。

【惡癖の矯正法】 鶏には種々な惡癖のあるもので、若し是れを表現するものがありましたならば、可成く早く夫を矯正す方法を探りませぬと、管

理上誠に不快で且つ不利益ですから、其主要なよく有勝のものに就て略説いたしませう。

(1) 食 卵 癖

【狀況及び原因】 是は鶏が自分の産だ卵や他の卵を喰る最も不快な癖で、其原因は食餌に石灰質が缺乏した爲め、『軟殻卵』を産み、其破壊たのを食て味を占めたに有のです。

【矯正法】 斯様な鶏には常に『石灰質』を含んだ食餌を與へ、又鶏卵の中味を抜去つた『空卵』へ何か鶏の嫌ふ様なものを詰込で置きますと、夫を喰て其味に懲りますから、此癖を斷念に至ります。

(2) 食 毛 癖

【状況及び原因】 食毛癖とは鶏が羽毛を喰ふ癖で、其原因は狭い柵内に多数を群居させた時、青菜等の緑餌が不足した時にあるのです。而して其病癖が高まると自分の毛でも他鶏の毛でも、關はずに抜取つてどしどし喰ふ様になるから驚くの外はありません。

【矯正法】 多量の『青物類』を與へ、又廣い所に『運動』させる様にすれば次第に其惡癖を止るのであります。

八 鶏の更新法

【更新の必要】 總て成鶏は一年二年の間は産卵の餘り變るものでは有ませんが、三年目頃からは次第に産卵量を減じて四年目あたりからは、全

然の『廢鶏』となるので、殊に兼用種の如きは斯様な事が早いのであります。だから此間に於て老鶏に換るべき若鶏の準備が必要で、此老若相交換するのを鶏の『更新法』と稱するのですが、是は只交代する許ではなく、鶏種の改良が出来ますから、其利益と趣味とは實に尠々ではありませぬ。

【更新の方法】 先づ更新を行ふならば、貯金養鶏では利益を主とするのですから、飼養鶏中の最も『多産性』の雌より種卵を得るために、或期間は常に上等な飼料即ち『上等糞』、『魚肉』、『青菜』等を充分給與して、愈々完全な種卵が採まれましたらば、之を孵化して育雛に従事するのであります。斯様にして生後四五十日を経過すると、雌雄の區別が判明して來ますから、其中の最も優秀なもの即ち『名古屋コーチン』では全體の羽色が黄褐

色で頭部や頸部に挿毛のない、軀體の大きな脚の丈夫で嘴の淡色なものを『レグホーン』では鶏冠の切目正しく五齒をなした、全體の羽毛に挿毛のない引締つたのを選べば、必ず失敗はないのです。

而して此選抜た雛が次第に成長して産卵を始めたなら、其時に於て老鶏と交代すればよいのですが、此際大に注意すべきは種禽と種卵との選擇で、若し是を誤つたならば、優等な若鶏は得られずに、劣等種ばかりとなつて折角の交配も大失敗の外ないのであります。又更新は一時に全部を行はずとも、次第に行ふが安全で、二十羽ならば最初十羽、其次に十羽と云ふ様にせなければなりません。

三種卵の孵化法

一 人工孵化と天然孵化

【人工孵化とは何か】 是は人が『孵卵器』と申す器械を使用して適當の温度を種卵に與へ、而して雛を孵化する方法ですが、此法に依るときは巢鶏の必要はなくて、一時に何十何百と云ふ多數の雛を得ますから、至極便利で近頃廣く使用される様になりました。而して是は大に便利ですが器械の使用法に不馴だと失敗する事が多く、何分現今の處其價額が高くて、一寸手に入兼るので、十羽や二十羽の貯金養鶏家が、毎年三十羽や五十羽の雛を得るには、強て其必要を認めぬのであります。然し此文明の利

器を使用して、多数の雛を得様とする方々は、共同して其購入をなし、孵化に従ふも實に良策だと思ひますから、斯様な人々には大にお勧めして止ませぬ。

【天然孵化】此法は巢鶏に任せて其体温により孵化を行なうのですが、是は昔から諸方で實行して來た普通のものですから、敢て詳細な説明をなす必要は持たぬのです。然し此方法に依る時は一時に多数の雛を得るは困難で、又母鶏を永く遊ばせる嫌もあります。少數の雛を得る貯金養鶏家には、餘り手数が要らぬのと資本が入ぬとの二點から、手輕と經濟とを尙び、此方法をお勧めするため、私は天然孵化に就てのみ説明を試みるのであります。

二 種卵の選み方と其取扱ひ法

【種卵の選擇法】孵化をなすに就て種卵を選むのは最も重要な事で、是は丁度農夫が播種に先つて其種子を選むと同一であります。さて如何な種卵がよいのかと申すに、それは次の様で、

(1) 其種類に普通の卵形が最良で、小に過ぎるも大に傾くも宜しくない事。

(2) 卵殻の表面に小さな粒物や、凹凸其他異状のあるものは、必ず用ひぬがよ。

(3) 満二歳以上三歳の鶏のがよく、若鶏や老齡のは不可。

(4) 産落してから十日以内の卵がよくて、病鶏の卵は必ずしも用ひぬ事。だから種卵は何でもよいと思ふは、非常な心得違ひの既に失敗の路へ足を踏み込だものであります。

【種卵の取扱ひ法】 是は餘程深い注意を要しますので、激しく轉倒し、又は動揺して其中味に振動を及ぼすと、孵化が思はしくないのですから何の樂もないものです。故に遠方から取寄せた種卵は、少くも六七時間静かに置いて、途中の動揺を鎮めた後に抱卵せるのが宜しいのであります。

三 孵化の季節

【春季の孵化】 種卵の孵化は何時でも出来ますが、食餌や管理や發育等から考へて、如何しても三月から五月の春季が最も適當で、此春季の孵化がよい理由は次の様です。

- (1) 春雛は其發育が頗るよくて、飼育や管理に最も容易なること。
- (2) 成鶏となつての産卵が其年の秋季で、他の鶏が換羽のため産卵せぬ時だから、利益の多いもの。
- (3) 春雛は其年の秋季より引續き翌年の冬季も産卵するから、經濟上よろしきこと。

【秋季の孵化】 寒國地方では必ず春季の孵化を逸してはなりません。暖地では秋季即ち九月十月頃の孵化も大によく、或點から見ると春雛よ

りも秋雛の方が遙かに成績がよいと思ひます。何故秋雛は宜しいかと申すに、次の如き關係があるからです。

(1) 秋雛は其成育中に梅雨季の様な不健康、氣候に相遇ず、且つ害蟲に侵害れる心配なきこと。

(2) 秋雛の成熟期は其翌年の暮春から夏季で、他鶏が産卵せぬ際ですから、高價な卵が採り利益多きこと。

(3) 春雛わら成鶏となつたものよりも、秋雛からなつたものは健康で且つ産卵狀況が宜しいこと。

其他暖地では少しの面倒を見ますと、冬季の孵化も相當の成績を擧げられますが、地方などでは農閑を利用して冬季孵化を行るも亦妙である

と考へます。

四 巢鶏の選み方と抱卵數

【巢鶏の選擇】 愈々孵化を實行としたならば夫に従事ふ巢鶏を選むので此良否は實に孵化の成績に大影響を及ぼし、折角苦心して選上た種卵も種々な故障を生じて誠に不快やら不經濟なものですから、其選み方は、

(1) 性質が温順で抱卵に熱心な體格の餘り大きくないものたること。

(2) 疥癬、ルーブ病及び其他皮膚病や疾病に侵されて居ぬ強健なるもの

(3) 初回のものよりも一回孵化に經驗のあるもの。

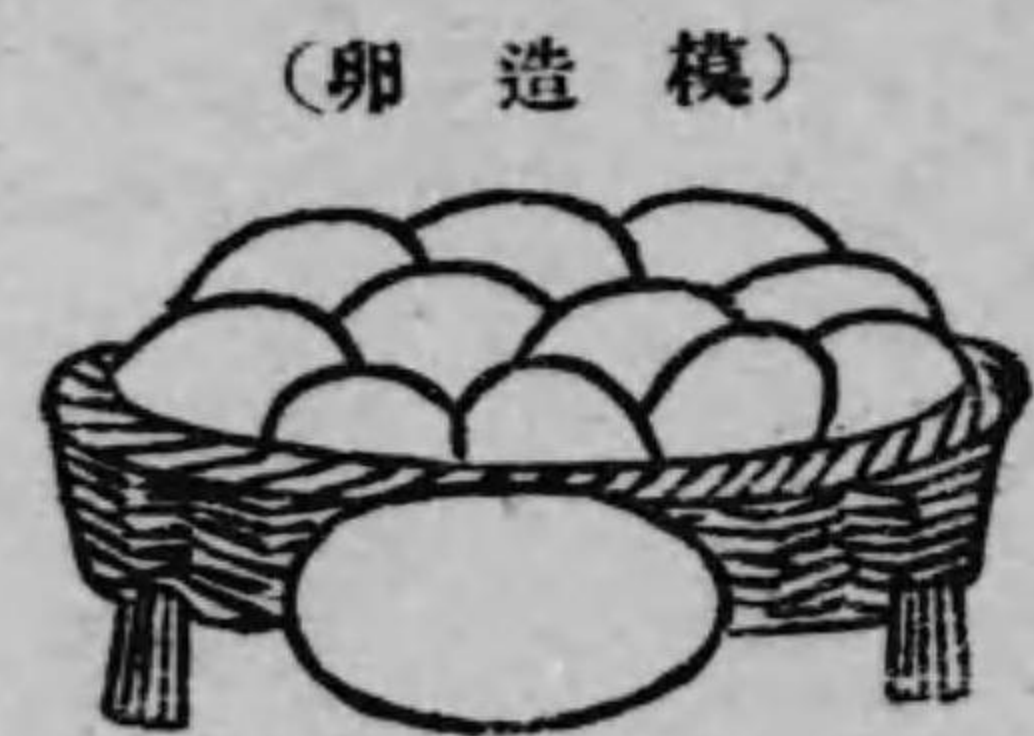
右様ですが、性質の猛烈なものは種卵を破壊し、抱卵に不熱心なものは

孵化の歩合が悪く、疾病に侵されて居るものは其病毒を雛に傳染するから、實に恐怖べきものであります。而して巢鶏には卵用種は駄目で、必ず兼用種の『名古屋コーナン』か『プリマスロック』に限るのですが、是等は『生きた孵卵器』とまで呼ばれて居ります。

【抱卵数】 種卵の大きき巢鶏の體格等に依て抱卵数は異なりますが、普通六七百の雌には十五六の種卵を十五六顆程與へて宜いですが、其數の少いのは害なきも、多數に過ぎるのは破壊卵や死籠卵を生じて誠に不經濟です。だから巢鶏の種類や能力を考へて抱卵数を定めるがよく、私は常に普通の『名古屋コーナン』に『ミノルカ』、『レグホーン』の卵を十五顆抱かせますが、極めて良好の成績が見られますから愉快です。

五 抱卵法と續座

【抱入の仕方】



(卵造模)

先づ巢念のある鶏に三四日間は模造卵(擬卵)と申して硝子製や木製や陶器製のもので、其形が眞の卵と同一のを抱かせて置き、愈々孵化に適當な能力あるものと見たらば、初めて眞の種卵を夜間靜かに抱かせるので有ます。又種類の異つた種々の種卵や、産卵日數に非常な相違あるものは、孵化の日數が同じにならぬので、斯様な事は

必らず避るがよいのです。

【續座】 巢鶏が拂底な場合には續座といふ事を行るので、是は雛が孵化

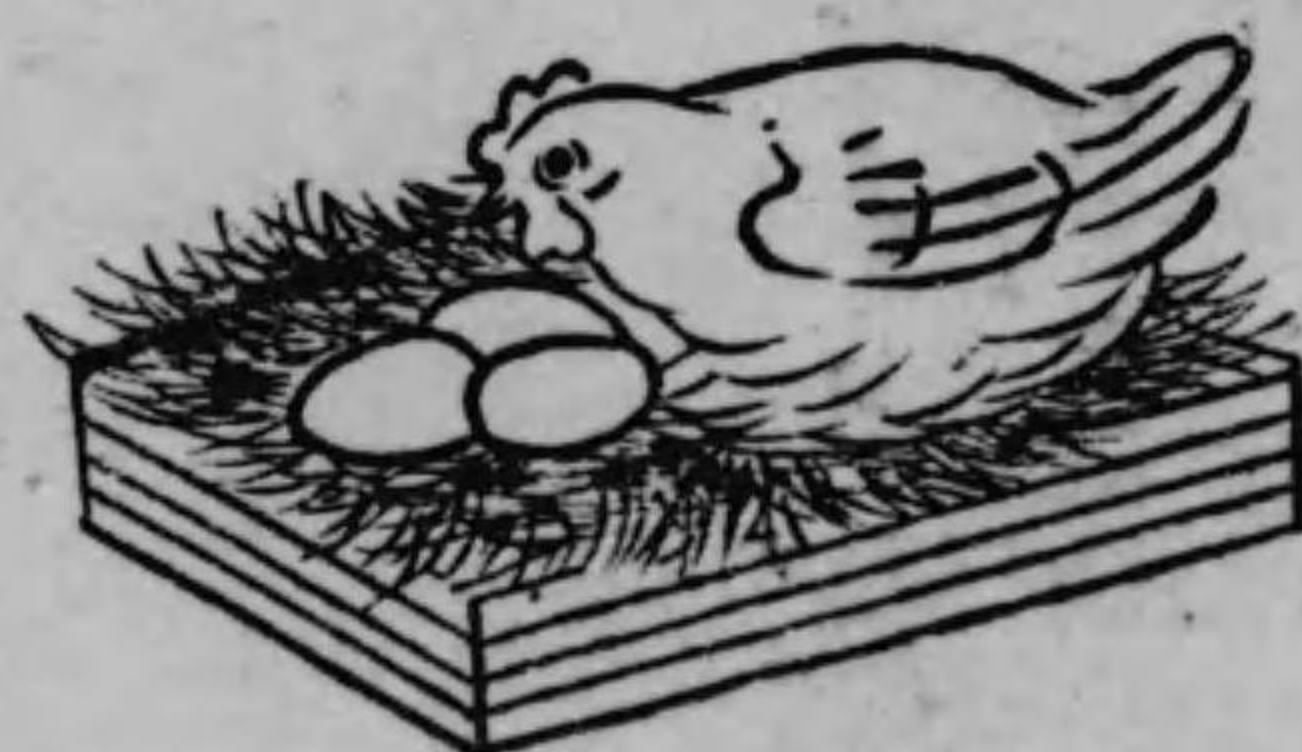
たら次第に夫を巢鶏から取去つて鳴聲の聞えぬ箇處に遠ざけ假母器に收容て飼育ひ、其巢鶏には其處で引續き新しい種卵を與へ、第二回の孵化を行せる方法であります。而して此法は至極經濟的なもので、一羽の巢鶏さへ有ば一春に二十五六羽の雛が得られますから誠に樂みなのですが是を實行と巢鶏が非常に疲勞ます。だから其食飼も特に注意して上等穀類や動物質青菜をはじめ、糯米の碎片や玄米の少量を與へ、新鮮な清水を給するなど専ら其健康を謀らねばなりません。

六 孵化の巢箱と其置場所

【巢箱】 是は種卵を置く甚だ大切なものですが、特に調製なくとも古桶

空箱等何にても手輕なものを使用がよく、其底には藎を箱大に切て敷入れ、藎屑又は乾草を上にて於て凹狀を作り、此中に種卵を入れて抱温るのであります。私は素麵箱や石油箱の古いのを用ひ、又は空桶等も間に合せますが、中には必ず清潔な乾草か藎を入れ、古藎の箱大のものを敷き、而して種卵を安置して見ます。結構な成績を得るのであります。

【孵化の場所】 巢箱の置場所は如何かと云ふに夫は至極閑靜で清潔な、然かも薄暗い箇處を選び、必らず巢箱は地上に直接置き、決して高い處にしてはなりません。又雄鶏や他の雌鶏を近寄せるのは大禁物です。若し騒々しいやら明



(箱 巢)

るいやら不潔やら他の動物が近付く様なことが有ますと、巢鶏は不安の念を起して、途中で抱卵を止めますから、孵化の場所は餘程注意を拂はねばなりません。

七 抱卵中の注意

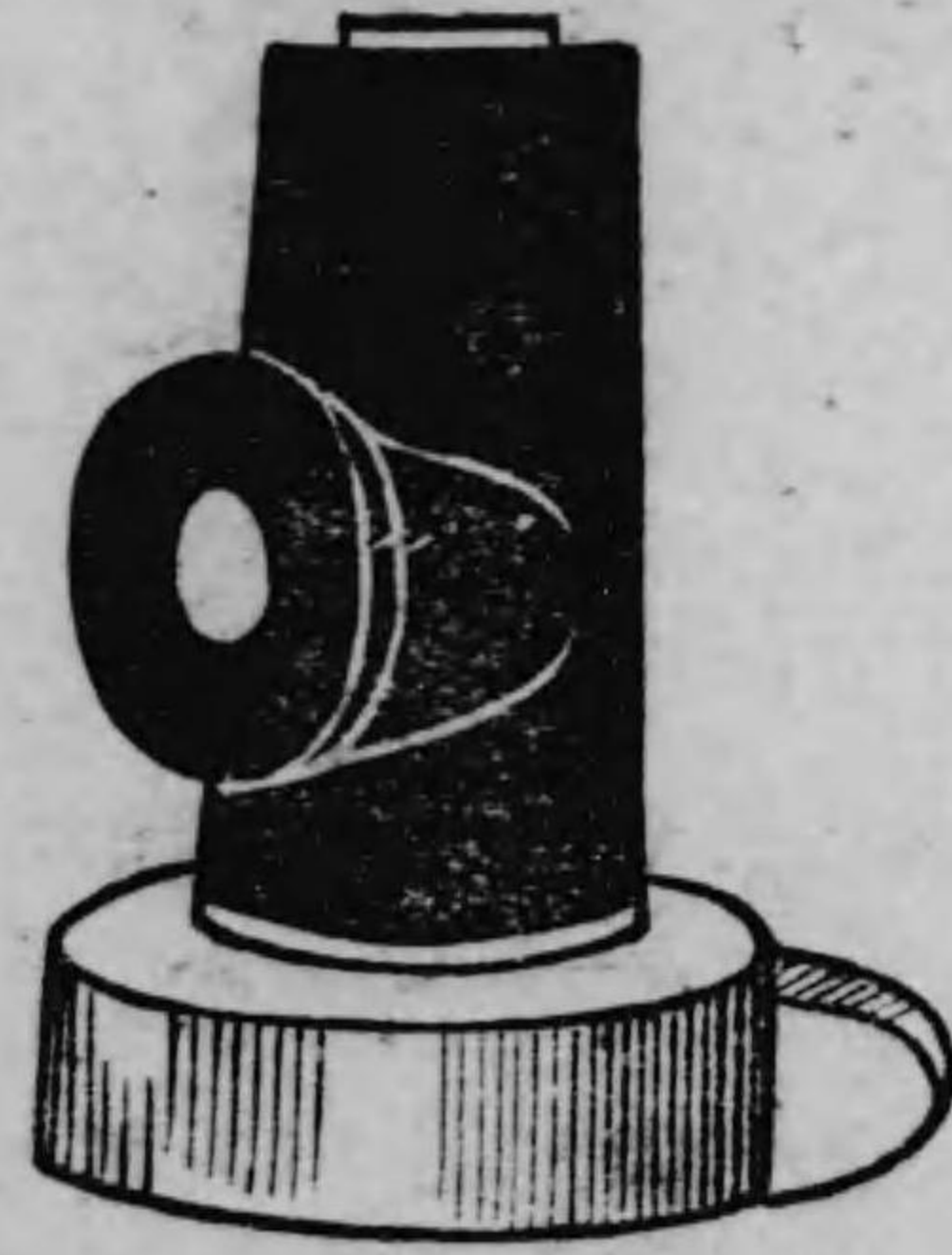
【巢箱の清潔】 巢鶏は兎角寄生害虫の發生を受るものですから、巢箱の中の糞屑、敷藁などは毎週新しいのと交換へ、又誤つて種卵を破壊か或は脱糞して他の種卵を汚穢ならば、直に微温湯で夫と洗滌し、同時に箱内の清潔法を行るので、此抱卵中の清潔は動もすると怠り勝で、種々な故障の原因となるは實に注意すべき事だと思ひます。

【給飼と砂浴】 毎日午前十時頃か午後一時頃に時間を定めて巢鶏を箱から出して食飼を興へた後に砂浴を行らせ、再び巢箱に歸らしめるので有ますが、此間に要する時間は三十分位で、夫以上は宜しくないから、若し巢鶏が長く出て居る様子が見えましたらば、靜かに夫を巢へ導くとか或は毛布類を種卵に掩ふて其冷却を防がねばなりません。而して此抱卵中の食飼は必ず粒飼で、小麦、粃米、玄米、大麥等の上品を興へて可成粗食を避るので、尙青菜、石灰質の貝殻及び清水は毎日缺かさぬ様になし、兎角巢鶏は身體が疲勞るから滋養分多い食飼を興るのが宜いのです。

【檢卵】 種卵に就て時々檢卵と云ふことを行るので、是は抱卵後五

日目の夜に燈火に向つて種卵を透検と、闇黒のものと透明のものど有るを見ますが、此闇黒なものは孵化をなし、透明なのは孵化ぬので検卵器

(器卵検)



恐怖べきものです。夫で此検卵は第二回を七日第三回を十八日目に行るのですが、是は無駄な卵を永く抱せて巢鶏の體温を空費さぬ事が、其主
要な目的であります。

によれば一層明瞭であります。故に透明なのは速かに取除て食用になすがよく、斯様なのは十日を過ぎますと腐敗ので、以後誤つて破壊と非常な悪臭を放ち、ために他の良卵をも斃死に至る大害を招く

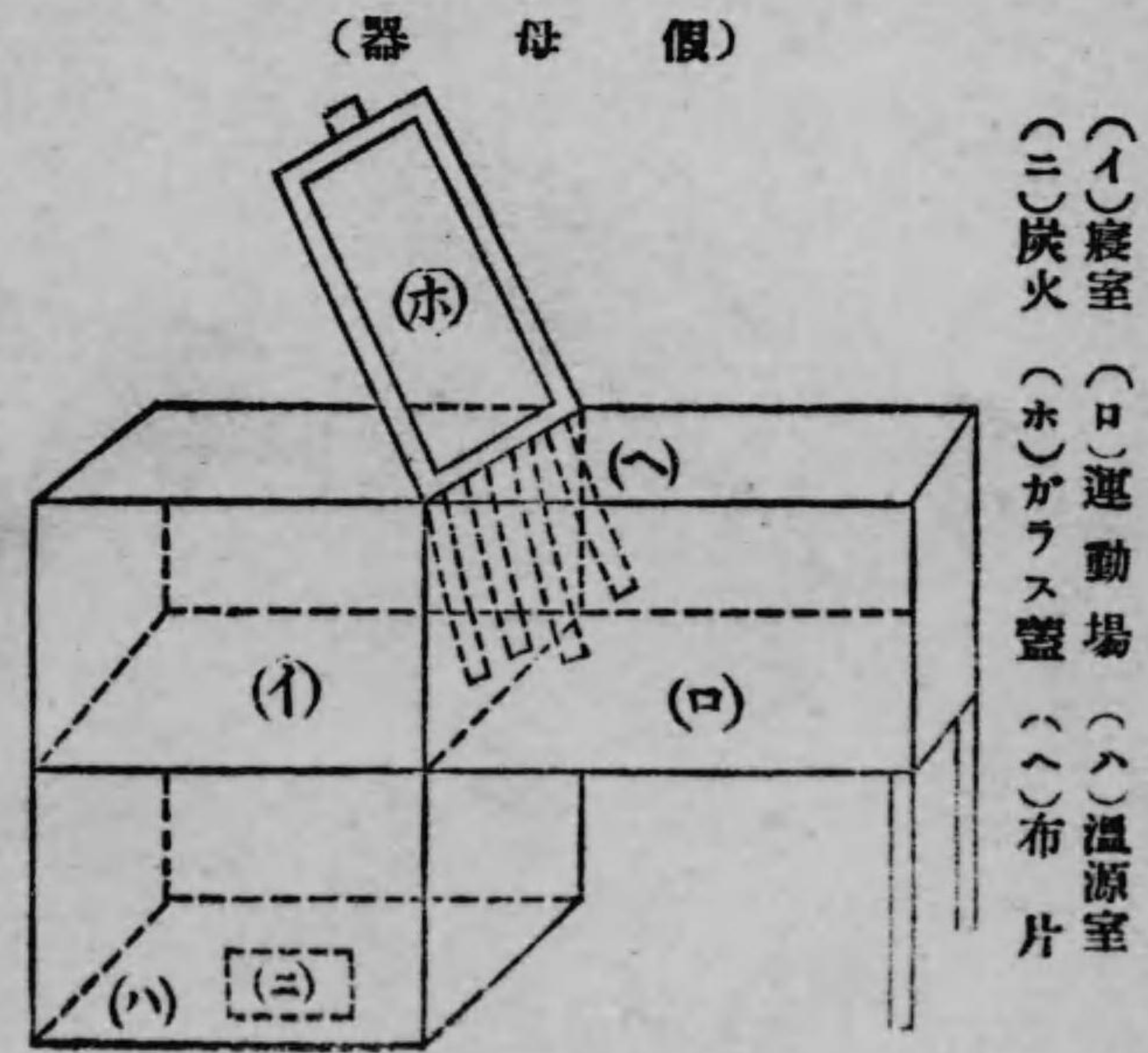
四 雛鶏の育成法

一 人工育成と天然育成

【人工育成法】 雛鶏の育成には人工育成と天然育成との二法ありますが人工育成とは人が「育雛器」即ち「假母器」と稱する器械を使用して、母鶏なしに雛を育成する方法であります。是に依ますと母鶏の踏殺す心配も害虫の傳播こともなくて、至極便利なものです。此假母器で育成た雛は、誠に人に親み深いものですから趣味の深いもので、今假母器につき一寸其説明を試みませう。

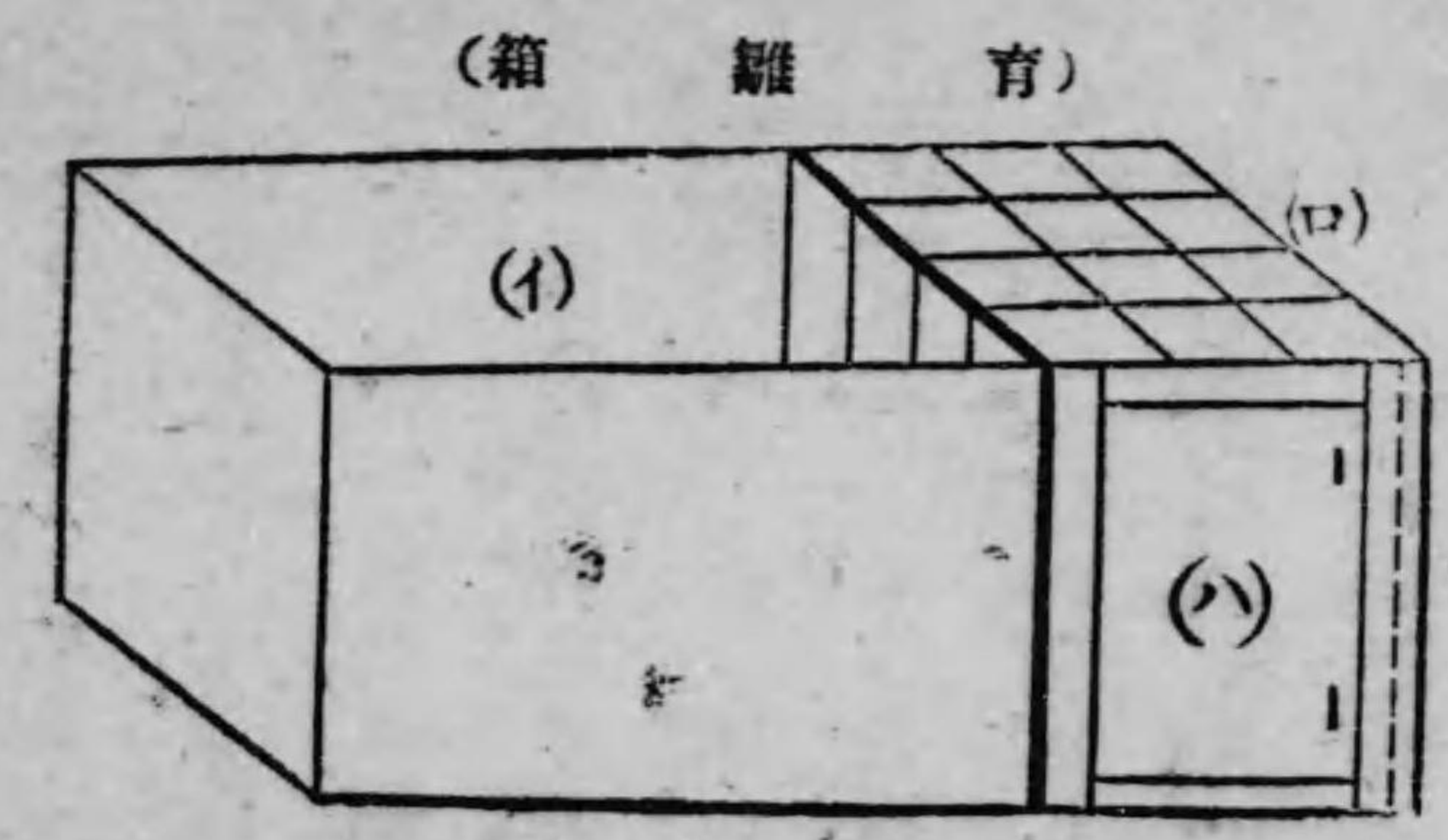
【假母器】 全體の形状は圖の様であつて、初生雛二十羽位を收容には、

幅一尺三寸長さ三尺、高さ一尺の箱を寢室と運動室とに區別たものと、高さ一尺三寸長さ一尺二寸幅一尺三寸程の温源箱とから成て居る構造で、寢室と温源箱との間には鐵葉板か何かで床を作り、温源箱の中には鐵葉罐の様なものへ木灰を入れて、炭團若くは炭火を埋め、而して寢室を温めるのであります。夫から寢室の床には綿か何か暖温い物を置き、運動室との境界に



は「フランネル」の類の布片を吊して温度の放散を避るのですが、寢室の温度は最初は九十度位として漸次低減るので、一週間後は八十度を保つ様になし、三週間も経過すると日中の温暖な時は火氣を廢してよく、三日後には假母器を用ひぬも宜しいのであります。

【天然育成】是は孵化した雛を其儘母鶏に托して萬事を一任する方法で、是は従來行て來た普通のものですから、其説明の必要は有ませんが、總ての事を母鶏が注意して、人工育成の様に多くの手数を要しません。然し極く幼弱な雛を廣い場所に放つと、母鶏が諸方を連廻つて運動が過ぎるとか、種々な食飼を喰るとか或は猫、鼯、其他の害敵に襲はれ、又は水溜に轉落とかの故障を起しますから、最初二週間位は「育雛箱」を造つ



(イ) 雛運動場 (ロ) 母鶏居
所 (ハ) 出入口

て其中に飼育ふ必要が是非あります、
【育雛箱】 是には種々ありますが其手軽で素人にも容易に製作するのは、先づ長さ三尺七八寸幅高さ各々一尺三四寸の木箱で、是を大小の二室に區劃ち、其境界には格子戸を嵌て雛のみ自由に兩室を往來し得る様になし、母鶏には小室以外には行く事の出来ぬ構造ですが、是に依ると母鶏が雛を踏殺す事も、雛の運動が過て疲勞こどもなくて至極便利なものです。尙猫、鼯、其他外敵の豫防となすには、育雛箱の天井を金網

か格子になすが安全で、兎に角其構造の大體は圖の様になすが宜いと思ひます。

【母鶏と雛との分離】 雛と母鶏とは何時頃分離てよいのかと申すに生後三週間以上を經過て、翼や尾に丈夫な羽毛が三四本生えて來たらば、最早差支はないのですが、永く母鶏を雛に付て置くのは、誠に不經濟であるばかりか、却て雛のために宜しくありません。夫で母鶏から取離つた雛は其當座甚だ注意して、十分な管理の下に其發育を遂しむる様、總てに大なる親切が肝要だと思ひます。

二 雛の餌料と其給與法

【餌付及び其餌料】 愈々愛らしい雛が孵化たならば、直に何か食餌を給與するのは大に有害ですから、必ず二十四時間は其儘母鶏に任せて、一寸も喰物を與てはなりません。夫から雛の臍軀も乾き消化器も整頓て來ましたら、此時間後に雛を假母器に移すとか、母鶏と共に育雛箱に收容て最初「湯煎卵」の卵味を少量宛與へ、穀、粟、稗、小米等の極く小粒の物を湯煮て與るのですが、青菜の微細かな刻みも必要で、此初めての給餌を「餌付」と稱するのであります。

【雛餌の變更】 餌付後からは日數を経過るに従ひ、種々な食餌を與るのですが、其食餌の移方は甲の物より乙の物に徐々と移るので、決して急激な變化を行てはなりません。若し斯様な事は何のお構ひなく、急激な

變化をなすと、雛の胃腸を害して其健康を損ひ發育を妨げ、折角無難に孵化た者も可惜斃死を招くに至るのであります。故に私は此雛餌の變更に就て、自分の實驗して常に好成绩を得るものを、掲げて餌育者の參考に供します。

(1) 三月二十九日 『白色レグホーン』の雛午後二時十二羽孵化し、夫を巢鶏に一任して給餌を行ひませぬ。

(2) 三月三十日 午後一時湯煎卵の卵味一個の半量を極く小細な青菜刻及び湯煮た小米と混て與へて「餌付」を行りましたが、同日午後二時又同様の食餌を與へ、かくして此日は一時間毎に同様の方法を行ひました。

(3) 三月三十一日 前日同様で稍其分量を増す。

(4) 四月一日 此日は矢張前の如くで小米の量を増して三勺になす。

(5) 四月二日 卵味の給與を廢して『燒腦』を骨の儘粉にして與へ、小の外に水へ浸した粟少量を給與すると共に、今日からは極清潔な飲水を毎日缺さぬのでした。

(6) 四月四日 此日迄は前同様で、日毎に其分量を食慾の程度と雛の健康に依つて増加する様準備いたしました。

(7) 四月五日より同十一日迄 小米、荒粉、青菜、燒雜魚等を給與たのです。

(8) 四月十八日迄 前同様の食餌の外に大豆の碎片、粟、稗、玉蜀黍の

碎片等を給與しましたが、其分量は雛の食慾の状態によつて増加し、毎日四回程になしたのです。

(9) 四月二十五日迄 前同様で分量は稍増加。

(10) 五月二日迄 麩、米糠杯へ餅を混和し、青菜の刻を加へた練餌少量を朝晩二回と、午前十時と午後二時に、玄米、小麦等の碎片を給與しました。

(11) 五月十日迄 前同様の食餌で、練餌の量増加。

(12) 五月十七日迄 經濟上と其發育により練餌には麥糠を主となし、粒餌をも稍大粒の穀類を與へました。

(13) 六月下旬まで 同様の取扱をなして行きました。

(14) 七月一日より 全然成鶏同様に朝夕練餌として麥糠、米糠、豆腐粕、其他種々の物と、青菜とを混ぜたのに魚屑を入れて掻き、夫より外に粒餌の雑穀類を晝間一回給與する様に致しました。

三 雛の管理

【乾燥清潔】 總て家鶏は濕氣や不潔を忌むのでありますが、殊に雛は乾燥して清潔な温暖い箇處を大に好みますから、雛箱や假母器の中はよく糞掃除をなし、敷藁などを取換て常に清潔を保有ねばなりません。若し左様にせぬと「糞蟲」、「羽虱」等の害虫が発生して雛の發育を妨げますから、折角可愛らしい無難に孵化て來た雛も、實に慘憺な事になつて慄然

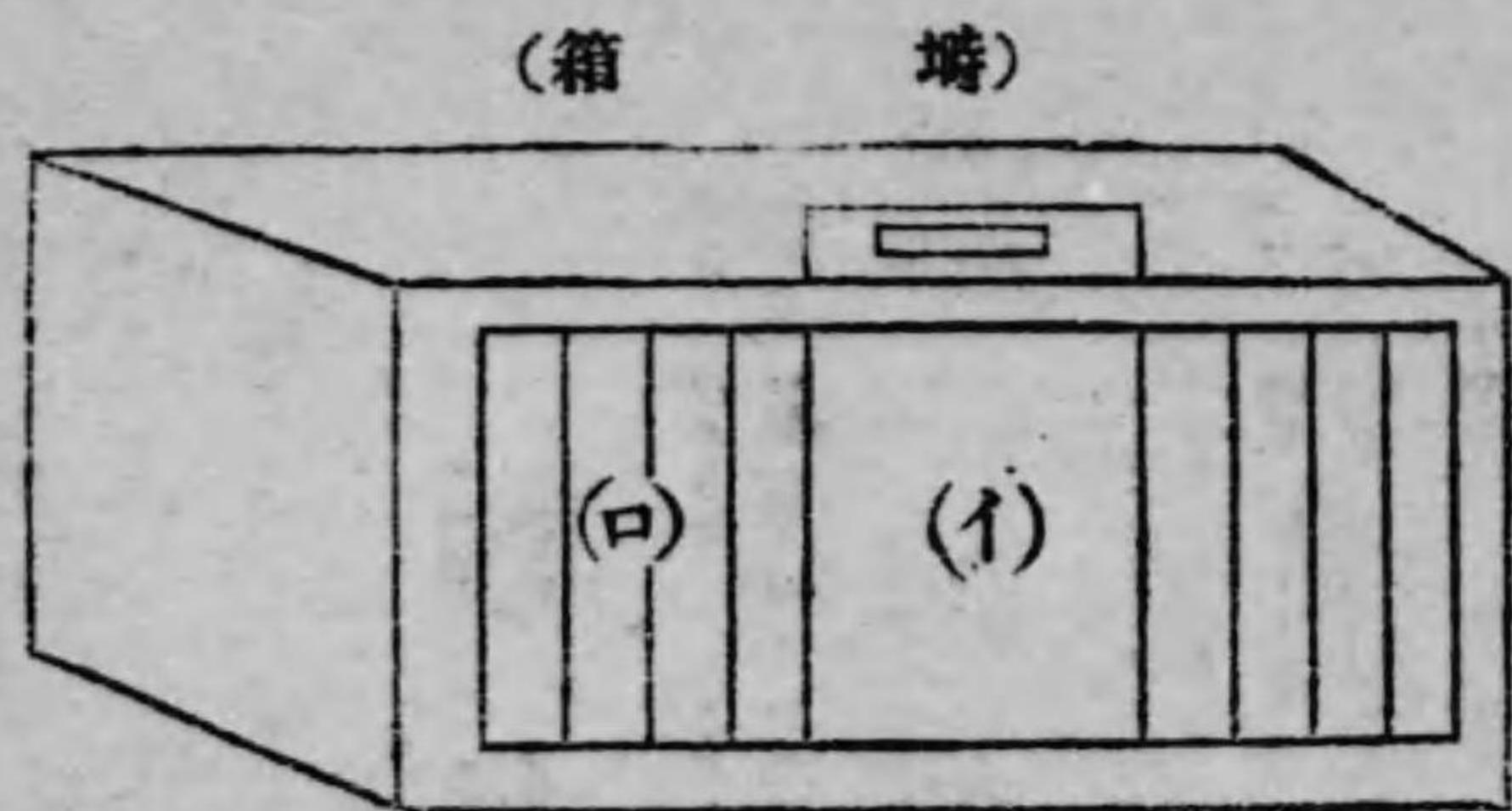
なものです。夫で種々な寄生蟲を豫防するために、時々「除蟲菊粉」や消毒藥を撒布して、總てに居心地宜くなすので、私は常に其管理は丁寧に致します。

【雛の運動】 是は雛の成育に極重要な事で、是が不足すると消化器病を惹起して遂に斃死するのが多いから、毎日一回は雛箱から廣い場所へ出して、飼養者が管理の下に充分な運動を行らせ、昆蟲類や、落穀を漁らせるのが宜いのです。夫で三四十日經過た雛は、何處か適當の所に五六坪程も柵を設けて其中に飼育て、次第に面積を廣めて運動を取らせる様なさい。私の経験によりますと、運動を充分させた雛の五十日後の者は狭い箇處で飼育た百日雛と其發育が殆ど同様ですから、如何に雛の時代

の運動が大切であるかは
實に明瞭なことでありま
す。

【強弱雛の分離】 一齊に
孵化した多くの雛の中にも
強雛と弱雛とがありまし
て、是等を混同する時は
弱者は强者のために壓迫
せられますから、其發育を妨げられて遂には斃死するのです。故に孵化後
一週間位で斯様なのが見えまじたらば、必らず強雛と弱雛とは是を分離

(動 運 の 雛)



して、暫時の間は飼育せなければなりません。而して其弱雛が漸次發育

(イ)出入口 (ロ)格子
して來たならば、そこで適當の時期を見計らひ、兩者
を混同て行く様に取り扱ふ時は、決して大な故障は有
ません。

【雛の眠らせ法】 雛は決して同一箱内に多数を入れて
眠らせるものではなく、若し斯様な事をする時、雛
が箱の中に群集して押し合ひへし合ひするから、其下
部に押し付られたのは、『目氣』、『鼻氣』と稱して目や
鼻から水様の汁を垂らして遂に斃死するのであります
故に夜間は『蜜柑箱』程の大きさの『時箱』を何個も製作

て廿日雛は十二羽位宛入れて眠らせる様になし、成長するに従つて次第に其箱數を増して行き、眠らせる羽數は減ずるのであります。

四 雛の疾病治療法

【雛の疾病】 此多くは消化器に關係するものですから、飼養者は常に其食餌の種類分量等によく注意し、急激に食餌を變更るとか、飽食せしむる様な事は必ず避るのですが、今雛にはよく有勝な疾病二三を示して一寸其治療法をお話し致しませう。

【下痢病】 下痢に侵された雛は始め液質の糞を洩し、病勢の進むに従て赤色の肉汁様な糞を洩すのであります。斯なると首を縮め羽を下げ目

を閉て、一週間以内に斃死して仕舞ひます。其治療法としては病雛を乾燥温暖な場所に移し、燂卵の卵黄と澱粉と卵白とを練た物と、其他消化し易い食餌を與へ、藥品としては大黃末の少量を施し、水には明礬又は石灰水の極少量を入れて與はよいのです。

【食滯】 此病氣に罹つた雛は少しも食慾が進まず、誠に苦しうな不活潑の状態を呈しますから能く知るので、斯様なのを捕へて靜かに素糞を探ると、夫が非常に堅く膨れて居りますが、是は食餌が胃中に停滯て消化せなためです。治療法としては少量の「ヒマシ油」を與へて、素糞を靜かに揉下るとよろしいですが、夫でも尙効能がなければ、切開術を行ふより外は有ませぬ。

【素囊加答兒】 是に侵された雛は素囊が非常に膨れて、瓦斯又は惡臭ある透明の液を充し、其状態は食滞に罹つたのと同様であります。治療法としては病雛を倒さにして素囊の液や瓦斯を悉く搾り出した後に、微量の『薄荷油』又は『炭酸アムモニア』の水溶液を飲せます。

五 雛の良否と雌雄の判別

【雛の良否】 孵化た多數の雛について其良否を見別ると云ふ事は實に養鶏上必要なので、殊に他人から雛を購入する場合及び自宅孵化のものを選擇する際などには、誠に此良否を知る程肝要なものはないのです。然し是については種々な方法もありませうが、今其中の最も容易で又確實な

のを参考のために、記載て見ませう。

- (1) 两眼の生々として活氣に満ち、羽毛の密生して何處となく元氣に富だ、其舉動の大に活潑なのは健康な雛であります。
- (2) 羽翼を下げ肛門に糞などをつけて汚穢の見へるもの、或は屢々片足で停立もの、若くは多く居睡をするものは不健康の雛。
- (3) 『白色レグホーン』では全體に少しも挿毛がなく、鶏冠の五齒をなしたものの、『名古屋コーチン』では頸の邊に挿毛を持たぬのがよいのです。
- (4) 其種類普通の外挿毛の非常に多いとか、體軀の何となく引締らぬものは不良の雛であります。

【雌雄の判別】 是は更に養鶏上の重要な事柄で、若し是に寸毫の誤認なく頗る正確なものなら、經濟上頗る好都合であります。然し是には未だ確然な判別法はない様ですが、斯道の實驗家の唱ふるもの二三を記較して參考に供し、飼養者の研究の助けと致しませう。

(1) 初生雛の雌雄判別法

(イ) 『レグホーン』、『ミノルカ』、『名古屋コーチン』等の單冠種で冠肉が割合厚く、且つ其缺刻が深く表はれて居るのは、多く雄であります。

(ロ) 總て鶏冠の續きなる後頭部の羽毛なき箇處が、長くて且つ狭いのは必らず雌。

(ハ) 總體に雛の羽色か濃く、斑紋のある種類で夫が大なるは雌であります。

2) 三週間後に於る雛の判別法

(イ) 主翼羽ばかりが早く生じて、體軀の扁重に傾きたるは雄。

(ロ) 羽毛の色一般に淡く、尾羽のみ早く生ずるは雌で、是は兼用種につき最も明瞭であります。

(ハ) 雞肉大く足の太きは必らず雄。

五 貯金養鶏利益增收法

一 鶏卵の利益增收は如何したらよいか

【高價の販賣】 養鶏利益の增收を謀るのは専業と副業とを問はず何れにも必要な事は今更申すまでもないが、殊に我が貯金養鶏では其然る所以を痛切に感ずるので有ますから、先づ增收法の第一として、鶏卵の販賣法から記述ませう。普通鶏卵は一顆二錢を平均價として計算するのであります。夫は時期によつて其價格に高下の有るもので、彼の三四月の春季には總ての鶏が澤山の産卵をいたしますから、市場に品物の豊富なために、従つて相場も二錢以下の安値を示すのです。然るに八九月から

十月頃の晩夏から初秋には鶏の換羽期となるので、總ての鶏が産卵を休止し、品物の出廻りが極く拂底となりますから、其價格は一顆三錢以外にまで高飛びするので有ます。だから一顆の鶏卵について春季と秋季とは其價格に約一錢の相違を見るのですが、是に限らず總て卵は少しの期間にも餘程の高下を持つので有ますから、其販賣をなすには、時期を見るのが収益上非常に必要な事で、養鶏の利益を多く得るも得ないも皆斯様な點にあるのです。

例へば今茲に二十羽養鶏から得た百顆の食用卵があるとして、是を其時の市價で百匁(約六顆)を拾貳錢五厘に賣ると、貳圓八錢二厘五毛となりますが、若し此人が市價の上騰を察して一週間も貯藏して置き、高價

の來るを見て百匁拾五錢に販賣したら貳圓四拾九錢九厘を得て四十一錢六厘五毛の増收となる、恣な具合で收益の増加を謀りましたら、高値と安値との販賣では蓋し多大の相違が有るのでせう。而して是には是非とも鶏卵の貯藏法が必要で、利益増收に大關係がありますから、次に其大要を簡単に記載のであります。

【食用卵の貯藏法】 是には種々な方法が有ますけれども、二週間や三週間の短時日の貯藏には、粃殻の中か木炭片の上に並べ、或は鹽の中に入れて置くもよいが、一箇月二箇月位の貯藏をなすには、鶏卵と鶏卵とが接觸ことなく粃殻の中に埋て床下の様な動搖がない、温度の低い箇處に置けば宜のであります。然し四五月頃の鶏卵を初秋の高値な時まで貯藏す

るには、如何するかと申すに、是は『硅酸曹達液』即ち『水ガラス』と云ふもの三百三十匁を水一斗に溶解した割合の液となし、夫を何か土瓶の様な物の中に充滿て、其中へ鶏卵を浸漬してから、よく瓶口を密封して土藏か床下の様な薄暗い、温度の變化の乏しい箇處に置くのです。

左様すれば其貯藏費が僅々一顆一厘位を要して、實に八箇月の久しい間保持ことが容易ですけれども、此方法に依た鶏卵は瓶から出して四五日しか保てず早く腐敗しますので、直に食用となす人々へ販賣するのがよく、此外に最も有効な貯藏法の二つばかりを次に掲示ませう。

- (1) 硅酸曹達液に一晝夜間浸漬した後、粃殻中に貯藏る。
- (2) 飽和石灰水中に浸漬る。

【産卵増収法】 鶏卵を高價に販賣する方法や貯藏をなす事は養鶏利益増収法ですが、更に鶏をして生産物の増進をなさしめるために、多数の産卵を促すも亦利益増収の根本ですから、私は鶏の『多産法』と『時期生産法』とを略説の必要を認めるので、其お話を致しませう。

(1) 多産法 是は鶏に澤山の卵を産ませる事で、夫には『多産性の利用』と『多産飼料の給與』との二個ありますが、此多産性の利用とは常に多く産卵する鶏の卵を種になすことで、斯様にするると其雛も成鶏となつて澤山の卵を産み、又其中の多産鶏から種卵を得て卵化すと尙多産の鶏が出来ますから、此方法を巧に行ひますと次第に勝れた多産鶏ばかりとなつて、其利益は常に大きなものであります。次に多

産飼料の給與とは、鶏が澤山産卵する様な食餌を與へる事で、鶏は元來現金なものですから、上等の飼料を與へますと一段目立て産卵をなすが、下等な食餌に變更すると忽ち其産卵を減退するものでもあります。而して多産飼料は何れも滋養分に富だ上等品ですから、是を給與としたら自然飼料代を多く要しますが、私は粗食寡産よりも美食多産の方が却て絶濟的であると思ひます。然らば多産飼料とは何かと申すには是には種々ありまして、先地方で得られる物には、小麦、穀、上等糶、玄米、青菜、粟、玉蜀黍等の植物質と魚肉、鳥獸肉、蠶蛹、蝗類、餅粉、骨類であります。此中の物を用ひて次の様な食餌を與へますと、總て鶏は多産するものです。

△朝餌(練餌) 麥糠四合。餅二摺。青菜三摺。

△晝(餌粒餌) 上等糶二合。青菜若干。

△晩餌(練餌) 穀二合。麥糠三合。餅二摺。青菜三摺。

(其他貝殻片、木炭末等も給す)

是は十羽の一日分量ですが、餅はなかく産卵を促す効力がありますから一寸高値ではあるが、給與のがよく、又近頃用ひる『多産混合飼料』とか、『殖卵餌』等をも實驗するがよいと思ひます。

(2) 時期生産法は或時期即ち産卵が拂底で、高値な時に産卵を得る法ですが、是は前説明した様な多産性利用や多産飼料の給與にも關係しますが、私の説明するのは、『換羽期』や『夏季』或は『冬季』の様な一

般に品物の拂底な時期に産卵せしめ、高價の販賣から利益の増收を謀る方法であります。是等は何れも相當の手数と面倒とを要しますが、即ち換羽期に産卵せしめ様とするならば、其年の二月に孵化を行つて雛を飼育すると、夫が丁度八月から九月の品物が拂底な時に盛んな産卵をなし、又五月の雛を育てますと翌年の一二月頃に多産いたします。尙十一月から十二月頃に孵化しました雛は、翌年の夏季に産卵して非常な利益を得ますから、斯様な方法を探るのも亦増收の一法であるとお勧めいたします。

【種卵の賣却】 種卵は普通の食用卵よりも高値に賣るものですから、出來得るならば斯様な處で可成高價に賣て、利益を占めるのが宜しいと思

ひます。殊に春季、秋季の孵化期になりますと、謀方で雛を多数仕立てますから、種卵の賣却はなかくありますので、五十顆や百顆は苦もなく賣捌けますが、此種卵の価格は母鶏の善悪によつて高下あるは勿論ですも、素人賣なら「レグホーン」や「ミノルカ」が一顆十錢位、「名古屋コーチン」が五錢程になり、食用卵よりも一層の増収が得られるのです。

二 賣雛の利益は非常に大きいもの

【賣却雛】 毎年春秋の二期に賣却雛を仕立て販賣するとなかく利益の多いものですから、私は是を貯金養鶏家にお勧め致しますが、先づ春季の三月から五月に掛けて二羽の母鶏を準備し、一羽に十五顆宛の種卵を抱

かせ、積座法を行ひますと少くも五十羽の雛を得、秋季のと總では百羽の雛を一箇年に販賣する事が出来、餘業としてはなかくの利得を見て貯金の財源を擱むのが少々では有ませぬ。

【雛の價額】 雛は一羽何程宛に賣却て宜かと申すに、先づ一羽の母鶏が抱卵の期間を二十二日と見て、其間に産卵するとしたら二十二個で、一顆二錢と見積つても四十四錢、産卵は自家のだから十五顆では三十錢、又母鶏の食餌は一日四厘宛として八錢八厘、總計では八十二錢八厘であります。故に實際十三羽の雛を得ましたら一羽六錢四厘に賣却て宜ですが、實際は十二三錢になりますから、無論利益はありますので、若し二週間も飼育て賣ても決して損失は招きませぬ。私の實際経験によると孵

化後三週間飼育て賣却も、一羽八錢の純益はありますから、一箇年に五十羽の雛を賣る人は四圓、百羽ならば八圓の收入を見ますが、雛は永く飼育て賣るよりも早い方が利益は割合多く、要するに賣雛の利益はなかく大きいものです。

三 鶏糞から収益を求めるとよい

【鶏糞の効用】 元來鶏糞は其中に尿を混じて居りますので、其儘使用すると作物に有害ですから、昔は種々の説が行はれたものです。然し夫は全然の誤解で、鶏糞は是を糞溜の中か又は堆肥中に入れて一週間も腐熟せ青色となつた時に使用がよく、尙鶏糞は百貫目につき「過磷酸石灰」三貫

目内外の割に混じて腐熟するのが、最も宜しいのです。而して鶏糞は其百分中に、

水	分	五、六〇〇	窒	素	三、八〇
磷	酸	二、八〇	加	里	一、〇七

の様な肥料の三要素を程よく含みますから、何種の作物にも適當し、殊に葉や莖の採取を目的とする桑、藍、蔬菜類には最も有効であります。

【鶏糞の價額】 斯様に有効なものですから、鶏糞の相場はなかく宜いですが、夫を記述に先ち鶏は何程の脱糞をなすかをお話致しますと、一羽の鶏は一箇年に風乾物として七貫二三百匁位ですから、十羽ならば七十二三貫となりませす。夫で其價は何も混らぬ時糞が十貫目一圓、土混り

が七十錢程ですから、平均八十錢には賣れますので、十羽の鶏からは五圓を得られ、斯様な副産物も亦勉めて其利益を収めるが、貯金養鶏利益増收の一法ではありせんか。

四 輕蔑の出来ぬ老鶏の收入

【老鶏の處置】 老鶏と申すは四三歳の老齡となりまして、産卵數の減少たものや性來産卵歩合の少いもの、又は不具か何かで生産の見込がないものをも云ふのです。だから斯様なのは秋季の換羽期が來て斃死ぬ前に屠鶏屋へ賣却ふがよくて、長く飼養するは誠に不經濟なことであります【老鶏の賣却】 食用鶏の相場は四月から六月頃まで最も高く七月から九

月までは甚だ安いのですが、素人の廢鶏として賣拂ふものは何れ劣等のものですから、餘り其價にはなりません。然し雄百匁八錢雌百匁十錢位にはなりますので、次の様ですが、

レグホーン雄一羽(六百匁) 四十八錢 雌一羽(四百匁) 四十錢

名古屋コーチン雄同(九百匁)七十二錢 雌一羽(七百匁) 七十錢

一雄九雌の『レグホーン』を交代の際全部賣ますと、四圓八十錢、又『名古屋コーチン』ですと七圓二錢になります。夫れで三年目に一度交代する

人は『レグホーン』なら毎年平均一圓三十六錢『名古屋コーチン』なら二圓三十四錢宛の收入を見る譯で、老鶏の收入も亦決して輕蔑は出来ませぬ。

五 飼料代の軽減は利益增收の一法

【飼料代の軽減】 私が飼料代を軽減せよと申したら、粗悪な飼料を與るのだからと考へになる方々も有ませうが、決して左様な馬鹿な意味ではなく、可成く飼料を經濟的にせよと申す事でありませう。即ち養羽飼料は其仕方に依ては、三圓や五圓の相違は容易に生ずるものですから、勉めて其地方で得易い廉價な然も滋養分あるものを選まねばなりません。

【植物質飼料】 私の研究に依ますと普通の農家では十五羽から二十羽位の養鶏を一箇年用なす位の飼料は、麥刈時、稻刈期に自家收穫の殘物で用意が出来、又時折の米搗から得る米糠や小米で給與され、米糠其他雜

穀類も亦自家のものが間に合ひ、極く少數の五羽や七羽では日々臺所から出る殘飯、お櫃の洗流でよいと思ひますが、放飼ならば無論柵飼程の分量は要せぬのです。

【動物質飼料】 一寸當惑するのは動物質飼料ですが、之も附近の川、池沼等から鮎、鰯、雜魚、小海老の類や田螺、蝗虫等を鶏獲て與へればよく、又海岸地方では夫々漁獲た魚類の骨、臟腑、屑物類を鶏の飼料に用ひる様な方法を取りますと、飼料代は大に軽減されて、品時々肉屋か製粉工場から極少量の飼料を仰ぐに止まるのです。

六 養鶏帳簿の準備

羽数 雌 雄		收 入			支 出		
		月 日	摘 要	金 高	月 日	摘 要	金 高
八羽	六羽	八月十五日	買入				
一金							
收支差引純益							
備考							

金養鶏利益増収の方法をよく謀らねばなりません。

1875 方

【帳簿準備の必要】自家の鶏が總で毎日何個位の卵を産むか、一箇月に何程か一箇年には如何程の産卵を見るか、雛買却の収益はどうか、鶏糞の収入は何程を数へたか、又飼料、器具、藥品其他の諸雑費は如何であつたか等、養鶏收支の状況を知るには必ず養鶏帳簿の準備が必要で我が貯金養鶏家は是非此點に注意すべきであります。

【帳簿の種類】是には種々ありますが簡單明瞭なものがよく、複雑なのは煩累に堪へなくて、遂に其記入が怠り勝になりますから實に駄目なものです。而して其帳簿には種々ありますが、會計簿の形式を示すと次の様で、其外産卵日帳とか、産卵月帳とか或は種々なものが有りますけれども、夫は各自が工夫して最も手輕で、而も整然とした形式のを選び、貯

斯様なのですが、最初は總て帳簿の記入は煩ららしい様でも、習慣に
なると却て趣味が深いですから、勉めて記載の練習をなすがよいのです

貯金の来るの雞の飼方終

大正六年十一月廿五日印刷
大正六年十二月廿五日發行

(定價金三十錢)

著者 白松新

發行者 東京市神田區淡路町一丁目一番地 中野勝永

印刷者 東京府下巢鴨村字宮坪二五三九 杉本新吉

印刷所 泰山房印刷部

不許複製製

發行所

東京市神田區淡路町一ノ一
振替東京第九〇七九番

泰山房

8. 6. 25

364
339

終

